

クロスロード

4

令和版

特集

隊員活動の トラブル脱出法

着任期～適応期編





子どもたちに
伝えたいSDGs
世界の学校

小麦粉粘土を応用してピザを焼いた。「幼い子も大人びた子もいますが、みんな小3の同級生です。『作って描いておしまい』という授業よりも、作ったあとで遊んだり楽しめたりする工作などが生徒の興味を引きつけていました」
(益田さん=写真右端)

ブータンのろう学校の美術の授業で 身近な素材によるアートを楽しみました

益田寛子さん（ブータン／障害児・者支援／2017年度3次隊・鹿児島県出身）

ヒマラヤ山脈の東端に位置するブータン。その観光都市・パロの、国内唯一のろう学校で美術教育に関わりました。年長から中3まで、全校生徒107人の約9割が寄宿舎で生活していました。生徒は何歳で入学しても年長から始まります。入学時は手話ができなくても、ほとんどの子が約1年で手話を獲得しコミュニケーションが取れるようになります。その後、算数や国語などの教科を学んでいくのです。4歳で入学する子も、小4くらいで聞こえづらさを感じて地元小学校から転校する子もいて、異年齢の子が交じるクラスはまるで仲の良い兄弟姉妹が集まっているようでした。

授業ではブータンの公用語を基にしたゾンカ手話を使います。着任後に手話の研修を受けましたが覚えるのに時間がかかり、美術の授業中は同僚の先生に手話で通訳してもらったり、わからない単語は英語で聞いて進めたりしました。画材には牛乳パック、トイレトーパーの芯や新聞紙など、お金をかけずに手に入る材料を活用しました。小麦粉を使った粘土も大好評。最初の授業は色を混ぜて造形をし、次の授業では小麦粉を練ったものにイーストを混ぜて、ピザを焼いて食べました。これには生徒たちも大喜びでした。

学校を卒業しても、さらに上級のろう学校がないため、また障害者の雇用政策もないので、就職のための技術を身につける目的で小4から木工やミシン、ブータンの伝統装飾画を学ぶ授業もありました。

布の端切れで作ったコースターや飛び出すカードなど、生徒の作品を町のカフェに展示し、販売してもらった。作品発表の場が得られ、その売上金で、授業で使う絵の具やクレヨンなどの画材を購入できたことは、生徒の自信につながったと思います。

クロスロード

2022 APR

Contents



表紙によせて

「週末暇だったら来なよ」。パプアニューギニアのニューブリテン島。任地、ココボの小学校の同僚から誘われ、トーライ族の成年式に参加しました。当日は伝統衣装を着て薄化粧を施した姿になり、彼らが信仰する精霊から棍棒で背中を強く叩かれる洗礼を受けました。痛みを悶えていると生徒たちが駆け寄って来てくれて、トーライ族と私自身がつながったことを実感しました。澄野勇志さん（パプアニューギニア/小学校教育/2016年度4次隊・三重県出身）

- 2 子どもたちに伝えたいSDGs —世界の学校
- 3 ■Contents ■索引
- 4 JICA Volunteers' Reports
- 特集
- 6 令和版
隊員活動のトラブル脱出法
着任期～適応期編
- 14 派遣国の横顔 ザンビア
～知っていますか？派遣地域の歴史とこれから
- 20 専門家に聞きました！
失敗に学ぶ ～現地で役立つ人間関係のコツ
- 22 この職種の先輩隊員に注目！ ～現場で見つけた仕事図鑑
- 24 ひきつけるアイデアを共有
みんなの教材づくり&アクティビティ
- 26 先輩隊員のシューカツ記
- 28 派遣から始まる未来
進学、非営利団体入職や起業の道を選んだ先輩隊員
- 30 待ってます、あなたを！ ～各界からのエール
- 31 あの日、地球の、あの場所で。
- 32 JICA海外協力隊派遣現況
- 33 INFORMATION ～JICA青年海外協力隊事務局からのお知らせ～
- 34 隊員めし 現地で作った日本食、日本で作る現地めし
- 36 ウチのこだわり —OB・OGシヨップ 海外編

| ■国別索引 | 掲載ページ |
|-----------|----------------|
| インドネシア | 7 |
| エジプト | 26 |
| ケニア | 36 |
| ザンビア | 15、16、17、18、19 |
| ジンバブエ | 36 |
| スリランカ | 9 |
| 中華人民共和国 | 4 |
| ニカラグア | 31 |
| ネパール | 9 |
| パプアニューギニア | 1 |
| バヌアツ | 21、24 |
| パラグアイ | 34 |
| バングラディッシュ | 28 |
| ブータン | 2、9 |
| ブラジル | 9 |
| ブルキナファソ | 36 |
| ボツワナ | 9 |
| ホンジュラス | 9 |
| マダガスカル | 22 |
| マラウイ | 36 |
| 南アフリカ | 24 |
| モザンビーク | 5 |
| ラオス | 22 |

| ■職種別索引 | 掲載ページ |
|-----------|-------|
| コミュニティ開発 | 22、28 |
| 村落開発普及員 | 9、36 |
| コンピュータ技術 | 9 |
| 電話線路 | 7 |
| 野菜 | 5 |
| きのこ | 9 |
| 獣医・衛生 | 17 |
| 獣医師 | 16 |
| 林業森林保全 | 9 |
| 林産加工 | 15 |
| 理数科教師 | 24 |
| 青少年活動 | 36 |
| 環境教育 | 9 |
| ソフトボール | 36 |
| 柔道 | 18、19 |
| 日本語教育 | 4 |
| 日系日本語学校教師 | 9 |
| 数学教育 | 24 |
| 小学校教育 | 1、31 |
| 幼児教育 | 26 |
| 家政 | 34 |
| 感染症対策 | 21 |
| 障害児・者支援 | 2 |

| ■出身都道府県別索引 | 掲載ページ |
|------------|---------|
| 宮城県 | 5 |
| 福島県 | 17 |
| 新潟県 | 15 |
| 埼玉県 | 4、31 |
| 千葉県 | 28 |
| 東京都 | 21 |
| 静岡県 | 36 |
| 岐阜県 | 7 |
| 三重県 | 1、22、34 |
| 京都府 | 26 |
| 大阪府 | 16 |
| 兵庫県 | 9 |
| 岡山県 | 22 |
| 山口県 | 24 |
| 愛媛県 | 18 |
| 長崎県 | 9 |
| 大分県 | 19 |
| 鹿児島県 | 2、9 |

【凡例】

JICA海外協力隊の隊員（経験者を含む）については、次のように表記しています。

国際協力さん(ケニア/環境教育/2019年度1次隊)

| 氏名 | 派遣国 | 職種 | 隊次 |
|----|-----|----|----|
|----|-----|----|----|

「JICA海外協力隊」には「青年海外協力隊」「海外協力隊」「シニア海外協力隊」「日系社会青年海外協力隊」「日系社会海外協力隊」「日系社会シニア海外協力隊」があります。

『クロスロード』（通常号）は、JICA海外協力隊が活動・生活を円滑に行うための実践的な情報、および帰国後の進路開拓や社会還元をする際の情報を提供する雑誌で、年に10回発行しています。

編集・発行：
独立行政法人国際協力機構 青年海外協力隊事務局

from Japan



新規就農から10年で 群馬県優良青年農業者に

たかの かずま
高野一馬さん (モザンビーク/野菜/2006年度2次隊・宮城県出身)

2021年11月に群馬県優良青年農業者(※1)の表彰を受けました。群馬県の甘楽町で農業を始めてから10年がたち、現在、ナス、レタス、下仁田ネギなどを露地栽培しています。甘楽町は出身地ではありませんが、青年海外協力隊員としてアフリカのモザンビークに派遣される前の2006年に半年間、NPO法人自然塾寺子屋(以下、寺子屋)を通じて、この地域の農家で技術補完研修(※2)を受けたことが就農のきっかけです。大学の国際地域開発学科で農業を学んだあとに新卒で協力隊に参加し、モザンビークの農業専門学校に教員として赴任しました。ポルトガル語で講義をすることが苦手だったこともあり、主に学校の畑で野菜栽培の実習指導をしました。乾期が長引き不作になると食糧が不足し、生死に関わる状況になることを目の当たりにし、生きることに繋がる農業の重要性を考える機会にもなりました。

帰国後は、畑に立つ仕事をしたいと甘楽町に戻りました。派遣前にお世話になった農家の皆さんや浅間山を望む雄大な景色に魅せられていたからです。4年寺子屋で働き、海外からの研修生や協力隊候補生への研修に携わりながら就農の準備を進めました。新たに農業を始めるためには、農地、機械、作業場を備えた住宅から、生産する作物を決め、栽培方法などの知識や技術の習得、資金や経営に関する情報入手まで、多岐にわたる準備が必要です。私は宮城県のサラリーマン家庭に育ったため、就農に有利な地縁・血縁がありませんでしたが、この地域の人々との縁が繋がったことで、土地や家を借り、地元の大先輩たちから農業を教わることができました。



1 ネギ畑で。「自然のなかでの仕事は気持ちがいいし、天候に合わせて試行錯誤する面白さがあります」
2 高野さんが育てた下仁田ネギ。お歳暮の贈答用に使われることも多い
3 甘楽町役場で群馬県優良青年農業者表彰を受けた高野さん

※1 群馬県優良青年農業者表彰…先進的な農業経営に取り組みながら増産と品質向上を図り、地域の農業者の模範となっている群馬県内の青年農業者を群馬県と上毛新聞社が毎年表彰。
※2 現在は「課題別派遣前訓練」になりました。

from China



中国派遣最後の隊員の一人として 帰国後も日中の懸け橋に

やぶ 穂さん (中華人民共和国/日本語教育/2019年度2次隊・埼玉県出身)

2019年11月から、江蘇省沭陽県にある全寮制の高校で、1、2年生の日本語の授業を受け持っています。街は発展が進んでいるものの、省都である南京市と比べるとのどかな地域で、私が「初めて出会った外国人(あるいは日本人)」という生徒がほとんどです。日本のアニメや音楽が好きで、日本に留学したいという生徒もいる一方で、厳しい大学入試を勝ち抜くために、小学校から必修科目で学力差が出やすい英語ではなく、漢字が含まれていて理解しやすい日本語を選択したという生徒が大半です。

日本の対中政府開発援助(ODA)が22年3月で終了し、中国への協力隊員の派遣は私たちが最後となりました。出会う人は皆温かく、私が寂しくないように食事に招いてくれたり、月に1度の休日に生徒が実家に誘ってくれたり、困っていれば見ず知らずの人でも助けてくれました。沭陽県への派遣は私が初めてでしたが、各地へ派遣された歴代の先輩隊員が信頼を積み重ねてきてくれたおかげであると思います。



1 盛り上がったかるた大会。「背中に書いた日本語を推測して次の人の背中に書いていくゲームなども行いました」
2 日本文化などを紹介する手書きの新聞を発行。普段は恥ずかしがって日本語を話さない生徒も興味を持って読んだり、質問してくれたりした



クロスロード1996年10月号の丹羽さんの記事の全文はPDFをウェブサイトにて公開中

「クロスロード1996年10月号」。
26年も前の号だが、今なお協力隊員が任地で活動する際に読んでおきたい貴重な体験記が掲載されている。当時、NTT国際本部海外事業推進室に勤務しながら、現職参加でインドネシアの電子通信事業会社・PTテレコムニカシ・インドネシアに赴いた丹羽進さん（電話線路/1993年度1次隊・岐阜県出身）が、自身の派遣国事情や体験をまとめた「インドネシアで学んだ体験的 隊員活動のトラブル脱出法」だ。

「クロスロード」1996年10月号の26年前の号だが、今なお協力隊員が任地で活動する際に読んでおきたい貴重な体験記が掲載されている。当時、NTT国際本部海外事業推進室に勤務しながら、現職参加でインドネシアの電子通信事業会社・PTテレコムニカシ・インドネシアに赴いた丹羽進さん（電話線路/1993年度1次隊・岐阜県出身）が、自身の派遣国事情や体験をまとめた「インドネシアで学んだ体験的 隊員活動のトラブル脱出法」だ。

26年前の誌面 「隊員活動のトラブル脱出法」 から学べることを語ろう

〈体験記を書いたのは〉
丹羽進さん
NTT退職後、岐阜県で有機農業・自然農を行いながらご家族で農家民宿「なかよしかぞく」を経営。

大まかにみた 協力活動の2年間

※「クロスロード」1996年10月号より

着任期（着任〜3カ月）

見るもの聞くものすべてが初めてで、職場に行っても仕事になりません。まずは基盤の生活を整える時期。

適応期（3カ月〜半年）

職場の人たちの顔や名前を覚え、仕事の内容が少しずつ見えてきますが、まだ本格的な活動はできません。

活動期（半年〜1年半）

職場の人たちにも慣れ、仕事も一緒にできるようになり問題点も見えてきて、本格的な活動が始まります。

開花期（1年半〜2年）

今まで取り組んできた活動の成果が徐々に始まります。活動の引き継ぎや、帰国の準備で大忙しです。

隊員活動の トラブル脱出法

着任期 ~ 適応期編



本誌「クロスロード」の前身である「若い力」は、青年海外協力隊の派遣が始まった年と同じ、1965年に創刊された。歴代の記事を読み返すと、活動中に得た教訓を後輩たちに生かしてほしいと、先輩隊員たちが自らの失敗や知恵を客観的に振り返り、誌面に提供してくれている。
温故知新。協力隊の歴史と共に、先輩たちが残してくれたこの大きな財産を活用すれば、もつと2年間の活動がスムーズで充実したものになるのではないかと。そこで、今回は1996年の本誌の記事「隊員活動のトラブル脱出法」をテキストに、より現代にマッチした任期中の過ごし方の提案をすべく、NPO法人九州海外協力協会に所属する協力隊OVとコラボレーション。4月号と5月号の2号にわたり、2年間の活動で気をつけたいこと、やっておきたいことを考察する。

Text=池田純子、ホシカワミナコ(本誌P6)
Photo=千川修(クロスロード)、ホシカワミナコ(取材時)

参加してくれたNPO法人九州海外協力協会の皆さん



まえはら むりょう
前原無量さん
スリランカ/環境教育/2015年度1次隊・兵庫県出身



しもまつひろかず
下松裕和さん
日系JV/ブラジル/日系日本語学校教師/2010年度0次隊・鹿児島県出身



くわやままさひろ
桑山昌洋さん
ボツワナ/SE(コンピュータ技術)/2000年度3次隊・鹿児島県出身



さかい まりこ
酒井マリさん
ネパール/きのこ/1992年度1次隊、ブータン/きのこ/1995年度9次隊、SV/ネパール/きのこ(林業森林保全)/2004年度0次隊・鹿児島県出身



事務局長
まる たかひろ
丸田隆弘さん
ホンジュラス/村落開発普及員/1986年度2次隊・長崎県出身

NPO法人九州海外協力協会
JICA海外協力隊など、海外での在住経験者が中心になって構成。「すべての人々がお互いを尊重し認め合える世界」の実現を目指し、ワークショップや国際協力プロジェクトなどを行う。鹿児島県国際交流センター、鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターも委託運営する。

前原無量さん
スリランカで環境教育の指導を行いました。劇やミュージカルの指導も行いました。

下松裕和さん
日本で日本語教師の資格を取得し、ボランティアで在外国人に日本語を教える活動に従事しています。

桑山昌洋さん
ボツワナでは小学校教員の養成学校でPCの使い方などを教えました。

酒井マリさん
ネパール、ブータン、ホンジュラスの農業協同組合の本庁に配属されました。

丸田隆弘さん
ホンジュラスの村落開発普及員として、当初はホングラスの農業協同組合の本庁に配属されました。

着任期..全体像をつかみ 3カ月をめどに状況把握を

編集室..まずは簡単に皆さんの活動内容などについて教えてください。

前原..環境問題に興味はあったものの未経験だったため、技術補完研修でコンボットの作り方を学んだりしてからスリランカへ。ごみの削減問題に取り組みました。配属先の環境教育隊員としては2代目で、その前に村落開発普及員(現コミュニティ開発)が5~6人いました。

語学ができないのは当たり前
聞き直って勉強するのみ

編集室..早速ですが、右の丹羽さんの記事を読んで、共感するところ、そうでないところ、率直な感想をお聞かせください。

前原..まず周りから「何もできない奴」と思われて落ち込むというところ。確かに言葉が話せないという意味通ができてなくて落ち込むことはあります。でも、それはみんなが通る道なので、聞き直ったほうがいい。私の場合、英語はある程度はわかるからと聞いていたものの、配属先に行ってみたらシンハラ語なまりの英語で、全然聞き取れない。これはやっぱり現地語で話さないとダメだとシンハラ語を勉強しました。シンハラ語は書く言葉と話す言葉が違って、配属先の掲示板に貼ったんですね。そうしたら、切り抜きを読んだ

スリランカの環境教育隊員はさまざまなデータを蓄積して引き継いでいます



前原無量 ● 民間の事務局勤務を経て、フィリピンに語学留学。途上国の環境問題に触れたのを機に、帰国後、協力隊員に応募。スリランカの市役所の保健教育部に環境教育隊員として派遣される。ゴミの削減問題をメインに活動に取り組む。現在は鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター(KAPIC)に勤務。

着任期(着任~3カ月)

初めが肝心、まず次の3点をクリアしよう

(前文略)

最初に、あせって人間関係を作ろうとしたり、まわりにとけ込もうと無理をすると、肉体的にも精神的にもとても疲れてしまいます。特に言葉がうまく伝わらないので、伝えたいのに伝えられないもどかしさや、いろいろ聞きたいのに答えてもらっても、意味が分からずにだんだん口数も減ってしまいます。このままズルズルと流されてしまうと、自分のいる場所がなくなってしまう、まわりからも「何もできない奴」と思われがちで、あなた自身も「一体、私の活動は何なのか」、「こんな所にはもう協力隊はいらない」と思うことに

もなりません。

(中略)

慣れない状態でどうしたらよいか分からないけれど、活動をしなければという思いが先に立ってしまった悩みますが、今のあなたは何もできるわけがありません。活動の期間は2年と長いのですから、特に仕事のことや考え、腰を据えて次のことに取り組んで、今から自分の仕事場となる職場の全体像をつかみましょう。

(1) まずあなたの職場の組織はどうなっているか知ろう

1. 組織図はあるのか(なければ自分で調べて作成する)
2. 職員は何人いるのか(名前、年齢、役職は)
3. 建物の中はどうなっているか(組織図と一致するか)

自分がどこから来たのか、これからどこで働くのか、どこに住んでいるのか。また相手はどこで働いているのか、どこに住んでいるのか、結婚しているのか、子供がいるのかなど自分のできる言葉すべてを使って会話して下さい(意味が分からなくても問題ありません。分かるまで聞いて下さい。ここで聞いた種は後で必ず花が咲くので、じっくりとやって下さい)。

(2) 職場の長とあなたの処遇について話そう

1. 自分の立場・権限(予算、事務機器、電話、勤務時間、休暇、その他)
2. カウンターパート(これは後になって大きな問題になるので、はっきりさせておく)
3. 協力指導内容(何が現在問題なのか、何について協力して

欲しいのか)

着任してすぐは、なかなか難しいですが、最初の3カ月をめどに職場の状況把握に努めてみて下さい。

(中略)

上司たちとの話し合いは仕事の話なので、ある程度インドネシア語ができないと、大変つらいものになってしまいます。しかし、それをしないで下の人ばかりと簡単な話ばかりしていると、後になって上司のところへ行けなくなってしまう。そうやってしまったらもう、手遅れで回復には相当の努力が必要です。そうならないためには、せめて三日に一回は所属長に会っていろいろ話をして下さい。とにかく自由に職場の長と会える立場になることが、最初の3カ月の目標です。(以下略)

1996年10月号の丹羽さんの体験記より

※部分抜粋

職員が声をかけてくれるようになり
ました。

桑山..私も英語が通じるとはいえ、
現地語で話したほうがコミュニケーション
ションが円滑にいくので、ポツワナ
語も勉強しました。地元の人にポツ
ワナ語で話しかけると、やっぱり喜
ばれます。

丸田..そうそう。現地なりの言い回
しや方言を覚えて、相手を和ませる
話をいくつか用意しておくとい
とにかく相手をにんまり笑わせたら、
最初の入り口はスムーズですよ。

下松..私の場合は日系社会なので、
ある程度日本語が通用しました。ポ
ルトガル語は日常会話程度しかでき
ませんでしたが、日本語で日本語を
教えていたので、言葉の壁はほかの
国に比べると低かったと思います。

酒井..日常会話は協力隊の訓練所で
学んだネパール語でなんとかなりま
した。職場である農業研究所の皆さ

んは高学歴で、ネパール語のなかに
英語の単語を織り交ぜて話していた
ので、専門用語など英語の単語を
知っていれば、コミュニケーション
に困ることはありませんでした。私
にとつては、言語よりもきこの栽培
の技術と経験がなかったことのほう
が問題でした。

前原..近年のスリランカ環境教育
隊員は、専門用語や活動報告、困っ
たときの虎の巻のようなものを各々
がデータ化して受け継いでいます。
環境教育で使う用語もまとめてある
ので助かりました。

活動のスタートは
組織図づくりから
編集室..やはり活動の第一歩は言語
ですか。では、次に必要なことはな
んでしょう。

前原..丹羽さんの記事にもあるよう
に「職場の組織図を作る」ことでは
ないでしょうか。組織を知らない
活動できないので、ぜひやっとなら
うがいいと思います。組織図で相手
の名前を覚えておくだけでなく、周囲
に自分の名前を覚えてもらうのも大
事です。

酒井..私の場合は組織図は作りませ
んでしたが、研究所には同年代の女
の子がいて、その子とおしゃべりし
ながら、組織のことだけでなく、き
この栽培や、ネパールのことなどい
ろいろ教えてもらいました。同年代
の同僚と親しくなったのは大きかっ
たと思います。

丸田..丹羽さんの記事には「カウ
ンターパートをはっきりさせておく」
とありますが、これには同感です。
私は普段から上司に進言するときも
カウンターパート(以下、CP)に
任せていましたし、本庁から支所に
活動先を移してもらった際もCPが

一緒に異動してくれたんです。私に
とつてCPの存在は大きかったです。
前原..私のCPは日本で研修を受け
たことがある人で、多くの先輩隊員
も見てきているので、頼れる存在で
した。すぐに動きださなくてはと
思っていたときに、「まずは収集車
に乗って現場を見に行け」と指示し
てもらったので、肩の荷が下りまし
た。人格者で僕は恵まれていました。
桑山..CPは、年上のポツワナ人
ですが、イギリスの大学院に留学し
て外の世界を見てきているから、現
地の問題をきちんと認識していまし
た。彼と話せば、組織のことや現状
が理解できました。

適応期 (3カ月〜半年)

(1) オフィシャルな場では、文
書とレターが、日本と同様必需品
(中略) すべての仕事は書類で
動いています。そして権限を持つ
ている人間のサインが人を動か
しています。(中略)

(2) 文書を書くためには
道が見えなくなったら覚悟を
決めて、まず活動計画表を作り、
カウンターパート、所属長のサ
インをもらって協力を要請しま
しょう。(中略)

2. カウンターパートがはっきりし
ていない場合やいい場合は、
今作製しようとしている「計画
書」にはっきりさせてくれるよ
う盛り込んで要請する。(中略)

案、④「解決案の実行」、⑤「成
果・反省」、⑥「再対策の実施」
という基本的な形に沿って計
画書を作成する。

そのためには文書番号が必要
になります。(中略)

に活動の切り口が見えてこない
場合は、ここから攻めることが
最も効果的で、入りやすいとい
えます。

とあなたの妨害をしてくること
でしょう。

のデータです。あなたが問題だと
思っていることを何らかの形に変
え、数値にしてみました。そし
てそれを毎日取ってみて重ねて見
てください。1カ月もすると明ら
かに問題が数値の形として見えて
きます。グラフに表わせれば、より
はっきりします。これがあなたの
武器になるのです。

(3) 口約束はあついなごう
提案や問題点、頼み事等があ
る場合は必ず書類を使うように
してください。口約束はしていない
のと同じです。(中略)

問題点はよく見えるので指摘
は簡単ですが、持つて行き方が
悪いために、トラブルを起こしや
すいので注意が必要です。誰でも
自分の仕事のやり方にケチを付
けられるのは、いい気はしません。

ころばかり外国人に指摘される
ことは好ましく思いません。問
題点をうまく持つていくポイン
トは、「どうしたら今よりもいい
仕事ができるか」、あるいは「ど
うしたら今よりも効率化が図れ
るか」を、主眼にすることです。

でも、相手に問題点を物語つて
くれます。(以下略)

まずは職場のデータを取る。

日本でもよくいわれること
ですが、公務員はお役所仕事で効
率の悪いことをやっています。特

ましてやそれを上司に報告され
るとあつてはたまりません。きつ

その際の大きな味方は、現場の生

でも、相手に問題点を物語つて
くれます。(以下略)

適応期..流れをつかもう

文書やレター、データを活用

前原..日本の役所もそうですが、文
書やレターは大事です。任期中、沖
縄の高校生がスリランカに来て、現
地の子どもたちと一緒に海岸を清掃
するという青年海外協力協会(JO
CA)のプロジェクトを担当しまし
た。プロジェクト開催にあたっては、
学校や教育局、海岸の管轄部など、
いろいろなところにサインをもらい
に行きました。サインがないと動か
ないことがあるので、レターは大事

だと痛感しました。活動計画表など
のレターの作成は、私の場合はCP
にやってもらいました。

酒井..丹羽さんの記事で特にうなず
けるのが「公務員はお役所仕事」の
部分です。派遣前は民間企業に勤め
ていたのですが、職場ではいかに経費を
削減して、もうけを出すかが重視さ
れていました。一方、ネパールの農
業研究所は公的機関なので、考え方が
違いました。たとえば種を作つて
農家に売るとき、「買いたい農家が
たくさんいるから作れば売れる」は

民間の発想ですが、研究所では「予
算がないから作れない」と言われる。
当時は納得できませんでしたが、こ
れはネパールに限らず、公的機関で
は現在の発想です。帰国して公務員

の人たちと仕事をしようになり、
こうした民間企業とは異なる考え方
を理解しなければ、うまく仕事が進
まないと感じました。

桑山..確かに、ポツワナの学校の先

ネパールの研究所で、
同僚女性との会話で
情報をもらえました



酒井マリ ● メーカー勤務を経て、海外暮らしへの憧れから
協力隊に応募。1992年にきこの隊員としてネパールへ。農業
研究所のきのこ部門で、きのこの栽培法を研究。その後は
95年度に短期でブータン、2004年度に再びネパールにシニ
アボランティアとして赴任。現在は鹿児島県国際交流セン
ターの事業主任。

1996年10月号の
丹羽さんの体験記より

※部分抜粋

任期序盤のまとめ

(前文略)

インドネシア側の認識としては、JICA専門家はある程度の資金が必要なプロジェクトや技術協力を行い、ジュニア・エキスパートつまり協力隊は地方主要都市で、あまり資金を必要としない、人に対する継続的な技術協力を行うという感じに受け止めていると思います。

インドネシアは石油や資源に恵まれた国で、他の国に比べると経済的に豊かです。また外国の資本を導入して、積極的に地方の開発を行っています。そこであなたがインドネシアで生活し

てみると、「この国に協力が
必要だろうか？」という疑問
が出てくると思います。

(中略)

「あなたの職場は、あなたが考えているほどあなたを必要としていないかもしれません。あなたがいないなくても仕事は回って行くからです。」

そんなワールな対応にもめげず、あなたは職場から「人・物・金」を引き出さなければ協力活動はできません。だからインドネシアの場合、実際的にも「ボランティア活動」ではなく、評価される活動を行うためのJICAジュニア・エキスパートでなければならぬ立場にあるのかもしれない。

ブラジルの日系社会では
特に同僚との信頼関係
構築が大事です



下松裕和 ● 東京都内の百貨店に勤務後、鹿児島県にUターン就職。古き良き日本が残る日系社会に惹かれて、ブラジルでの日系日本語学校教師を志望。日伯文化連合会に配属され、日本語授業のほか、劇やミュージカルの指導も行う。現在は鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター(KAPIC)総務課長。

生方もまずリスクの可能性を考慮して慎重に動いていかねばなりません。

編集室「郷に入れば郷に従え」ではないですが、早いうちに配属先の人たちの考え方ややり方を理解したうえで行動することは大切ということですね。

下松「記事に「問題点の指摘は慎重に」とありますが、本当にそうだと思います。ブラジルの日系社会では日本で日本語を学ぶように、「継承日本語」という国語教育が行われていました。でも今は日常的にポルトガル語を話す世代なので、日本語を外国語として学ばないと定着しないことに早い段階で気づきました。ただ校長先生もほかの先生方も誇りを持って継承日本語に取り組んでいらっしゃるのので、私のやり方を押し出すと、それを全否定することにもつながりかねない。少しずつ説得し、最後の半年でようやく週1回は私なりの授業をさせてもらえるようになりました。

前原「私は「データを取る重要性」という部分に共感しました。先ほど言ったように、私は着任1カ月目からゴミ収集車に乗って現場を見ていたのですが、3カ月目ぐらいに記録を取っていないことに気づきました。そこからどのゴミ収集車がどれぐらいゴミを運んだのか記録をつけ始めました。そして、そのデータを分析して、ゴミを減らすための対策を立てていきました。やはり数字でものを言うほうがわかりやすい。データ管理は現地の人の弱いところだったので僕が担当しました。」

前原「私は「データを取る重要性」という部分に共感しました。先ほど言ったように、私は着任1カ月目からゴミ収集車に乗って現場を見ていたのですが、3カ月目ぐらいに記録を取っていないことに気づきました。そこからどのゴミ収集車がどれぐらいゴミを運んだのか記録をつけ始めました。そして、そのデータを分析して、ゴミを減らすための対策を立てていきました。やはり数字でものを言うほうがわかりやすい。データ管理は現地の人の弱いところだったので僕が担当しました。」

酒井「研究所でこの栽培をする際にも、農家の方々にご栽培を普及させる際にも、データは必要でした。」

編集室「ところで、赴任3カ月半年ほどのように経過していませんか？」

桑山「最初の3カ月は授業をしつつ、周りの様子も観察して、現状把握に努めました。私の場合、PCに詳しくても教員経験はなかったので、訓練所と同じ職種の隊員同士で行った

訓練所で同職種の同期と
行った模擬授業が
ポツワナで役立ちました



桑山昌洋 ● 大学でウイルス学を研究中、研究活動の一環で南米に行った際、子どもの貧困問題を目の当たりにし、自分も何かできないかと協力隊に応募。教育単科大学のイングリッシュ&コミュニケーション科にSE(コンピュータ技術)講師としてポツワナに赴任する。現在は鹿児島県国際交流センター所長。鹿児島県OB会顧問。

授業の組み立てや、生徒役と先生役に分かれて模擬授業をしたことが、配属先でも役立ちました。15、16コマ分の授業をシミュレーションして、それを基に、自分の授業を計画しました。また、先代隊員が作った教材が今も使われているかを確認し、今回に作り変えたりもしました。決まっている任期を有効的に使うために、真剣に準備した記憶があります。

酒井「私は農学部出身でしたが、きのこを専門的に学んだわけではなく、実務経験もなかったもので、とにかく自分ができることを探してやり始めました。例えば、きのこ栽培の普及のためのスライド作りや、教材作りです。最初に「自分は前任者のようにはできません。いろいろ教えてください」と周囲に伝えて、教わったり自分で調べたりしながら慣れていきました。」

前原「私の場合は、実は活動よりも生活に慣れるまでが大変でした。洗濯機やエアコンがなく、毎食辛い力

レーでしたから。夜の暑さをしのぐために、水を入れたペットボトルを凍らせて体につけて寝たり、たまの休みに外食でリフレッシュしたり、ホテルに泊まって一気に洗濯をしてクローラーのある部屋で休んだりして、体を慣らしていきました。」

丸田「私からは、VC(企画調査員「ボランティア事業」)の経験も踏まえて、皆さんにアドバイスがあります。早いうちに、自分のスマホなどに記録している画像の整理をしてください。日本の地元の文化、日本の習慣、家族写真、季節をカテゴリー別にしておく、自己紹介や配属先着任プレゼンテーションで有効に活用できます。また着任した際の頃に、派遣国の習俗、宗教、風景、食べ物の写真を撮ったり、記録したりしておくこと。慣れて日常になつてしまいう前に、最初の驚きを記録してカテゴリー別に整理しておく、帰国後の報告会や学校などでの講演会でも役立ちますよ。」

協力隊の必要性を考える

編集室「左記の文章は、実は丹羽さんの文章の冒頭にあたる部分ですが、大きなテーマでもあるので前半の最後に皆さんから意見をいただきましたと思います。」

前原「左記枠内にある「『この国に

本当に協力が必要だろうか?』という疑問が出てくると思います」の部分、少なくとも私の環境教育職種には当てはまらないと思います。環境問題は、どの国も何かしらの課題を抱えているはずですから。活動中も協力隊の活動が必要がないとは思いませんでした。」

下松「ブラジルの日系社会の場合は地域差があり、日本文化への思いが薄れている地域に着任した隊員のなかには、「やるべきことがない」「なんで来たんだろう」と言っている人もいました。」

桑山「ポツワナ赴任中にほかの隊員ともよく話をしていたのは、ポツワナはほかのアフリカの国々と比べるとダイヤモンド産出国であったりと経済的に恵まれており、お金を出して他国から指導者を呼ぶことができるのでボランティアが入らなくてもいいのでは、といったことです。」

前原「国によってはそういうことあるかもしれませんね。ほか、丹羽さんの記事でもう一つ疑問に思ったのが、「あなたは職場から『人・物・金』を引き出さなければ協力活動はできません」というところ。確かにスリランカのゴミの課題を解決していくためには、人・物・金が必要でしたが、職種によるようにも感じました。」

酒井「『金』という意味では、私は前任者が高額な機材を購入していたので、期待されていたとは思いません。」

下松「教員の場合、確かに授業をする分にはお金はいらないですね。ただ私は劇やミュージカルの指導も任されていたので、大道具や小道具を作るために物が必要でした。現地には日本のようなクラフトに特化した道具やマテリアルがないので、周囲にあるものを使って工夫するしかありませんでした。」

桑山「丹羽さんの記事は協力隊員への助言として書かれているので、全体的に隊員に対して厳しめですが、隊員たちは「よその国の人たちのためにになりたい」と手を挙げて派遣されますから、どんな形であれ貢献できれば、私はそれでいいと思います。一人の隊員の任期は2年間でも、2代、3代と続いて、それぞれの活動が任地のためになっていけば、お金を持つてこれなくても、それでよしとするべきだと思います。」

任地の生活に慣れる前に
体験した驚きを
記録しておきましょう



丸田隆弘 ● 農協を退職後、1986年に協力隊に参加。ホンジュラスの農業協同組合で経理、財務を担当。89年にホンジュラスのボランティア調整員(現企画調査員[ボランティア事業]、以下VC)、94年にニカラグア事務所長、2006年にドミニカ共和国VC、18年グアテマラVCなど、中米・カリブを中心に活動。現在NPO法人九州海外協力協会事務局長。



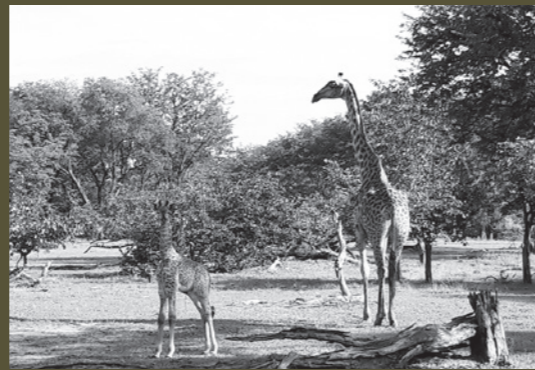
お話を伺ったのは

とくはしかずひこ
徳橋和彦さん

豆炭製造(林産加工)・1987年度2次隊・新潟県出身

PROFILE

JICAザンビア事務所長。企業の内定を受けていた大学在学中に、たまたま行った説明会で協力隊に興味を覚え、就職を辞め新卒で協力隊に参加。1992年に国際協力事業団(旧JICA)に入団。青年海外協力隊事務局やケニア事務所などの勤務を経て、2014年から17年までマラウイ事務所長。20年2月から現職。



国立公園が多く野生動物を観察しやすいザンビア

派遣国の横顔

知っていますか？ 派遣地域の歴史とこれから (ザンビア)

1964年の東京オリンピックと同時に独立したザンビア。協力隊派遣の歴史は52年にも及び、日本とザンビアの間には深い絆が結ばれています。

平和を愛し、平和に暮らせる国に 国民が誇りを持つ、多民族国家

ザンビアは多民族国家でありながら独立以来紛争がなく、穏やかな国民性といわれる。青年海外協力隊のザンビアOVであり、現在、JICAザンビア事務所長を務める徳橋和彦さんに、国の状況や協力隊の歴史についてお話を聞いた。

ザンビア共和国(以下、ザンビア)と日本の縁は、1964年に行われた東京オリンピックまでさかのぼる。10月24日、大会最終日にイギリスからの独立を果たし、参加していた選手団は、世界中が見守る閉会式に新しい国名と新国旗を掲げて入場し、大きな話題となった。

この新しい国を応援しようとする青年海外協力隊が派遣されたのは70年、柔道指導の6人が始まりで、無線通信機、電話線路とインフラ整備の最前線に携わる職種の隊員が続いた。その後は、漁業や養鶏、自動車整備へと広がり、農業、工業、保健、教育・スポーツ、産業人材の育成、中小零細企業の経営改善とあらゆる分野へと広がった。ボランティア事業は草の根レベルの協力で効果を上げられる分野で展開してきたが、なかでも最も派遣人数が多いのは教育分野だ。理科数教育を中心に、体

育・初等教育、情報技術関連など600人以上が派遣され、近年は教育の質の向上を重視した活動に取り組んでいる。

独立後、戦争や内戦がなく、アフリカで平和な国の一つとされるザンビア。隊員時代から30年ぶりに赴任したJICAザンビア事務所長の徳橋和彦さんは2021年に行われた大統領選をその地で見守った。「結果を巡って暴動が起きることが懸念されていましたが、現職の大統領が潔く敗北宣言をして平和裏に政権移譲し、胸が熱くなりました。非暴力主義のケネス・カワンダ初代大統領が掲げた『One Nation, One Zambia』(One Nation)というスローガンの下で、73もの民族が平和に暮らせることに誇りを持ち、民主政治が根づいていることを改めて感じました」。

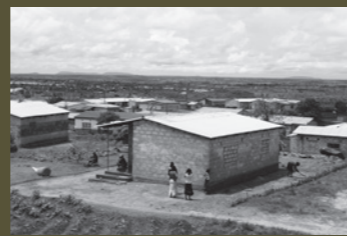
隊員の存在は国内でよく知られ、評価も高い。昨年、「協力隊派遣50周年記念式典」がコロナ禍で1年延期され開催された。「その際、前住宅インフラ大臣が中学生のときに隊員から数学を教わり、時間を守ることの大切さや誠実さも学んだことを披露しました」。

ザンビアは銅生産で知られる資源国だが、輸出収入は市況に左右され不安定だ。交通網や電力などインフラはいまだ脆弱で、教育や医療、給水衛生施設なども未発達なので、地方の農村部の生活は厳しい状況にある。一方で公用語が英語のため活動しやすく、海外からの援助も多い。「協力隊と日本の大学やJICAの技術協力との連携、NGOの活躍」さらには複数の援助国・機関による援助まで、ザンビアではさまざまな事業が実施されています。協力隊活動をしながらそうした人たちと過ごした隊員が、帰国後に国際分野を目指すのも特徴かもしれません。

ザンビアの基礎知識



| | |
|---|---|
| <p>ザンビア</p> <p>面積：752.61平方キロメートル(日本の約2倍)</p> <p>人口：1,838万人(2020年：世銀)</p> <p>首都：ルサカ</p> <p>民族：73部族(トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系)</p> <p>言語：英語(公用語)、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語</p> <p>宗教：8割近くはキリスト教、その他 イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教</p> <p>※2021年9月13日現在 出典：外務省ホームページ https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/zambia/data.html#section1</p> | <p>派遣実績</p> <p>派遣締結日：1970年4月10日</p> <p>派遣締結地：ルサカ</p> <p>派遣開始：1970年3月</p> <p>派遣隊員累計：1,607人</p> <p>※2022年2月28日現在 出典：国際協力機構(JICA)</p> |
|---|---|



ルサカ郊外の、コンパウンドと呼ばれる低所得者が居住する地域(写真提供=飯塚明夫/JICA)

かねこちほ
兼子千穂さん

獣医・衛生/2011年度1次隊・福島県出身

PROFILE

アフリカの動物や自然への憧れと共に国際協力に貢献したいという動機から、酪農学園大学卒業後、岩手県内の家畜診療所勤務を経て協力隊へ。帰国後は北海道大学大学院(北海道大学獣共通感染症リサーチセンター)でのザンビアにおける効果的な犬のワクチン接種を通じた狂犬病制御のための調査・研究を経て、2017年より宮崎大学に勤務。現在、同大学産業動物防疫リサーチセンター助教。



実習で乳牛用の固形飼料の作製を教える兼子さん



奥村さんの活動から、ザンビア大学獣医学部での手術研修の様子



おくむらまさひろ
奥村正裕さん

獣医師・1990年度1次隊・大阪府出身

PROFILE

北海道大学大学院獣医学研究院教授。同大学在学中にザンビアでの獣医学教育設立を支援する活動に関心を持ち、大学院を休学して協力隊に参加、復学。1993年より北海道大学に勤務。2012年に北海道大学ザンビア事務所長に就任。21年よりJICA「ザンビア大学獣医学部臨床教育強化プロジェクト」チーフアドバイザー。

活動の舞台裏

「本当にモノがなかった」

2020年、隊員時代から30年ぶりにザンビアに赴任した徳橋さんは、首都ルサカの発展ぶりに驚いたという。「南アフリカ資本のショッピングモールができ、買い物に不自由しません。人口が3倍以上に増え交通渋滞が起きるほど。子どもたちは、はだしが当たり前だったのに今はほとんど見かけません」。

1980年代から90年代、銅の国際価格下落を原因にザンビア経済は低迷。さらに反アパルトヘイト政策により南アフリカ共和国からの輸入も制限され、生活物資の確保にも苦労したからだ。



2022年のルサカの街並み

「せっけんや砂糖をはじめ国営スーパーの棚には商品がない。パンが入荷したと聞いたら職場を抜け出して買いに行った。免税店で塩やせっけんを買っていた」(徳橋さん)。「大けがをして南アまで治療を受けに行くことになったときには、ほかの隊員からたくさんの買い物を頼まれた」(奥村さん)というほど。

その後、銅価格の上昇、アパルトヘイト撤廃以降の南ア企業の投資拡大などで20世紀に入ってから2010年代の半ばまでザンビアは高度成長を実現しルサカも発展していく。

生活基盤を整える一助に

畜産振興の底上げにつながった「獣医」と、警察官育成の目的から国民的スポーツにまで広がった「柔道」。尽力した4人のOVを紹介する。

安全な家畜生産のため
獣医学部がスタート

「ザンビア人によるザンビア人のための獣医学部をつくる」という壮大なプロジェクトが始まったのは1983年のことだ。

ザンビアは独立後、食料自給と輸出促進のための農業開発に重点を置き、特に畜産分野に力を入れようとした。

しかし、日本の2倍もある広大な国土に対して獣医師は20人ほどしかいなかった。家畜の病気が蔓延し、生産性は低く、食の安全も確保されず、輸出などできる状況ではない。ほかの旧英領と同様に現地の人がある国で獣医師となる教育を受けられなかったため、ザンビア政府は、獣医師を養成する学部の設立支援を日本政府に要請した。

の交流は続き、共同研究はもちろん、北大は現地事務所をザンビア大学内に置くまでになった。いま、北大教授となった奥村さんは北大の現地事務所長を務めている。「ザンビア大は対等な立場に成長し、今では北大の日本人学生を教育してくれるまでになりました。長年の教育協力の醍醐味を感じます」。

畜産業従事者へ実践的に指導

より畜産現場に近いところで獣医学を教えた隊員もいる。2011年から活動した兼子千穂さんもその一人だ。畜産が国内で最も盛んな南部州のモン

日本の無償資金協力でザンビア大学内に獣医学部の新校舎が建設されると、85年から北海道大学(以下、北大)獣医学部が中心となって13年にわたる技術協力を行った。専門家と協力隊員合わせて100人以上が派遣されると共に、獣医学部を卒業したザンビア人が日本に留学できるよう取り組んだ。

90年に獣医師隊員として赴任した奥村正裕さんは、「教科書でしか見たことのない病気のオンパレードでした。日本では見つけたら厳格に制御することが法で定められている伝染病で死んだ動物が運ばれてきて解剖する日々。屠畜場では罹患した食肉が出荷されようとしていましたし、屠畜場を通らない食肉の流通も当たり前でした」と当時の様子を振り返る。

ザンビア人教官がいなかったため、専門家が教官となり、将来の獣医学教育の担い手(教員)となる学生に講義をし、奥村さんら隊員は実習などを通じて、学生や実習補助を行う技官の技能を向上させた。

奥村さんのカウンターパートは、実習を補助する技官たちだった。植民地時代からイギリス人獣医師の下で働き、奥村さんより年上が多かったが、新卒の奥村さんを快く受け入れてくれた。当時、ザンビアの経済状況はとも厳しかった。給料の低い技官は、物不足

にある農業大学校で、家畜の疾病や治療・予防法、家畜福祉などの講義を担当した。

実践的な知識と技術を求めて集まるのは、高校を卒業したばかりの人から、働いて学費をためてきた人、勤務先に学費を援助してもらっている人までさまざまだった。「私よりずっと年上の生徒も珍しくなく、教室に60人ぐらいがぎっしり入って学んでいました」。

協力隊に参加する前は、産業動物の獣医師として畜産農家の動物の健康状態を診て回る仕事をしてきた兼子さんは、ザンビアで初めて教壇に立った。校内は停電が頻繁に起こるため、講義

で入手しづらいものの値段の安い砂糖を飲み物に入れてお昼替わりにし、空腹をしのいだ。「力をつけないと午後の解剖で体が持ちません。解剖を事故なく終わらせるために、お昼を食べによく学生食堂に連れていきました」。

一方で、モノもお金もない厳しい状況のなかでも、学生の意欲と使命感の強さに奥村さんは心を打たれた。あるとき、専門家に代わって講義をすると、一人の学生が「もっと知りたい。もっともっと教えてくれ」と言ってきた。

「自分が教えたことが伝わって嬉しいのと同時に、彼が『これから自分たちが新しい大学をつくっていく、自分たちがこの社会をなんとかしなければいけない』という強い思いを持って勉強していることを感じました」

学生と協力隊員は年齢も近く、学校外でも時間を共にし、励まし合った。

ゼロから始まったザンビア大学獣医学部は、卒業生が教授・講師となり、獣医師を自ら輩出できるようになった。これまでに卒業した500人以上のザンビア人獣医師は、政府をはじめ農業・畜産、自然・環境分野で活躍するようになり、同獣医学部はアフリカ有数の獣医学部として高く評価されている。「もっと知りたい」と奥村さんに食らいついてきた学生は学部長になった。プロジェクト終了後も獣医学部同士

にパワーポイントを使うことができず、毎回板書だった。さらに、切り詰めた生活で教科書を買えない生徒が多いため、講義ごと内容をまとめた資料も配布しなければならず、「英語で専門的な内容を説明することにも苦労し、いつも講義の準備に追われていました」。

兼子さんは、家畜への注射の仕方、その際の家畜の押さえ方、薬の飲ませ方など、農場での実習も担当した。

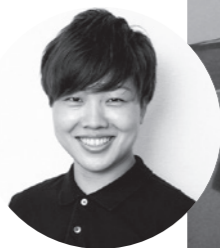
「自分の限られた語彙力でより正確に伝えるために、画用紙に説明用のイラストを描いて持っていきまし。学外の農場での住み込み実習から帰ってきた生徒たちに、『マダムに習った保定法

なかもとあゆみ
仲元歩美さん

柔道・2010年度1次隊・大分県出身

PROFILE

中学のときに柔道を始め、就職した航空自衛隊まで打ち込む。大学在学中に留学した中国で、海外で行う柔道の面白さに目覚め、協力隊へ。2018年からパーソナルトレーニングとハワイアンロミロミ(マッサージ)、視覚障害者や健常者へ柔道の指導を行う株式会社KALORを運営。パラリンピック柔道の日本代表選手を指導。



南部アフリカ大会でメダルを獲得して喜ぶ教え子たちと仲元さん



警察学校の授業風景 ※松下さん著書『ムリバンジ!太陽の国-730日の青春』(三友社出版)より

まつしたぶんじ
松下文治さん

柔道・1969年度3次隊・愛媛県出身

PROFILE

順天堂大学体育学部卒業後、協力隊に参加。任期後は3年間イギリスに留学し、56カ国を巡って帰国。英語や柔道の塾を運営する傍ら、1983年「郷土愛媛と国際社会を考える会」を設立。2001年に外務大臣表彰、09年にポーランド政府から大統領功労勲章。15年より順天堂大学国際教養学部客員教授。



活動の舞台裏

「ヒーロー」として
教科書に載った協力隊員

「マイ・ブラザー、ブンジ」と呼び敬意にしてくれたカウ ندا大統領をはじめ、温かく受け入れてくれたザンビアの人たち。濃密な隊員生活は、松下さんの目をより世界へと向けさせた。任期終了後、松下さんはイギリスへの語学留学を経て、地元・松山市で国際交流事業を行うようになる。



上：カウ ندا大統領との一枚(2003年に撮影)
左：バヌアツで小学校を訪問し、柔道の講義をする松下さん。(2019年に撮影)

「郷土愛媛と国際社会を考える会」を設立すると、松山市の子どもたちに英語や柔道、芸術や日本文化も指導、留学生と一緒に学ぶサマーキャンプや子どもたちの海外派遣を行ってきた。また、愛媛県にきた留学生を国籍や分野を問わず支援。もちろん柔道を学びに来た若者もいる。彼らのなかから、ロンドン五輪の男子ザンビア代表やモザンビークでの指導者が生まれた。

ザンビアとの交流も続け、2000年には現地に小学校を設立。留学時代に知り合った妻の母国・ポーランドの医療人材の育成支援も続ける。

こうした活躍から、20年、小学5年の英語教科書(開隆堂出版)に歴史上の人物・西郷隆盛らと共に「さまざまなジャンルのヒーローたち」の一人として紹介された。

大会では、代表チームの教え子が金メダルを5つ取った。そうした成果も嬉しい出来事だったが、仲元さんの印象に残っているのは、貧しくとも柔道を楽しみながら成長していく子どもたちの姿だという。「大学クラブには小学生から40代までが入っていて、大学が予算を出しているため貧しい家庭の子どもでも通えました。遠征試合のメンバーに選ばれれば、都会に連れて行ってもらえて、ご飯も食べさせてもらえます。同じクラブから代表チームに選ばれる選手も多かったです。柔道を頑張ることで夢や世界が広がることを知り、より豊かな

生活を送ることができると、柔道を習うことを楽しみに通ってくれました」仲元さんの下で柔道を始めて2年で国際大会に出るまでに急成長した少年は、大人の月収に当たるほどの賞金を得て、「お母さんにシマ(※2)を買ってあげると喜んだ。保守的で男女格差が残る、スポーツをすること、ましてや格闘技に打ち込む女性の少ない地方ながら、のちにザンビアで初めて世界選手権に出場する女子選手も育った。「子どもたちが勉強や家の手伝いと両立させながら柔道が続ける方法や、一人ひとりを強くするための身体の使い方や練習法について真剣に考えました。

ザンビアでの体験は私に指導者の道に進む力を授けてくれました」帰国後、仲元さんは、ザンビアでの経験を売られ、視覚障害者柔道の日本代表選手のコーチを務めるようになり、現在は2024年パリパラリンピック出場を目指す日本の選手たちを指導している。そして、パリのあとは、ザンビアで初のオリンピック女子選手の育成に携わりたいと考えている。初代柔道隊員の松下さんは帰国後もアフリカを中心に柔道を広めながらザンビアとの交流を続けた。ザンビアにまかれた柔道の種は、各地で芽吹き、さまざまな花を咲かせようとしている。

柔道が国民的スポーツに広がった理由 1970年4月、ザンビアに初代柔道隊員が渡った。配属先は警察官養成学校。前出のザンビア事務所長の徳橋さんによると、「独立当時、ザンビアは財政的に苦しく、警察官全員に拳銃などの武器を持たせることができず、それに代わるものとして導入されたのが日本の柔道でした。いかにも平和を愛するザンビアの人たちのアイデアだと思います。」

その一人、松下文治さんは、大学時代柔道部で主将を務め、恩師から「自他共栄(※1)の精神で海外で柔道を教え世界の平和に貢献しなさい」と説かれ、新卒で協力隊に参加した。ほかの

5人は警察官の現職参加だった。「一人として正座ができない。上半身は筋肉が発達して100キロぐらいのバーベルでも軽々と持ち上げるし、脚力が素晴らしく、ジャンプすると驚くほど高く跳び上がる。でも、関節が信じられないほど硬い。これでは危険で受け身さえ教えられないと感じました」と、松下さんは警察学校の道場で初めて生徒たちと向き合った印象を語る。隊員たちは、生徒たちに手足の爪切りや道着の着方などの身だしなみ、礼儀作法、柔軟体操から始め、技を根気強く教えていった。「受け身に失敗して目を回しても、悪びれずニコニコ笑いだすおおらかで憎めない生徒たちが多かった。高い身体能力を生かして、一生懸命、練習してくれました」

赴任して迎えた最初の卒業式では、隊員と卒業生による柔道のデモンストラクションを求められた。成功するとカウ ندا大統領をはじめ3万人の国民が集まる独立記念式典でも演武することになった。柔道を初めて目にした観衆は隊員たちの演武に魅了され、技のたびに大歓声が上がった。大統領も感激し、隊員たちに握手を求めてくる。「我々の国に来てくれたことを非常に喜んでる。肌の色は違っても、日本とザンビアは兄弟だ」と感謝の意を表した。この様子はザンビア国内で大きく報道され、柔道が一般の人に知られるきっかけとなった。警察学校にはイギリス製のマット畳があったものの、地方の機動隊訓練所に畳はなかった。隊員たちは、コンクリートの地面の上におがくずを敷き詰め、ドラム缶で押し固めた上にキャンバス地を張って畳代わりにするなど、工夫を重ねた。

柔道を楽しみ
世界を広げていく子どもたち

それから40年、隊員たちによって柔道はザンビア各地に普及していく。男子のオリンピック選手が育ち、子どもや女性も行うスポーツとなり、競技人口は約3000人まで増えた。

仲元歩美さんは、2010年、地方にあるムルングシ大学で3代目の柔道隊員として派遣された。「想像していたよりも日本の伝統的な柔道がきちんと行われていて、協力隊の先輩方が基礎からしっかりと指導していたことを実感しました」と振り返る。

仲元さんは地方にあるムルングシ大学のクラブと女子代表チームを指導した。12年に南部アフリカ12カ国が参加してザンビアで開かれた国際スポーツ

※2 シマ…ザンビアの主食で、製粉したメイズ粉(白トウモロコシの粉)をお湯で練って作るもの。

※1 「自他共栄」…相手を敬い、感謝をすることで信頼し合い、助け合う心を育み、他人と共に栄えある世の中にしようとする。柔道創設者・嘉納治五郎が講道館を創設した際に、掲げた理念の一つ。

専門家に聞きました！ 失敗に学ぶ 現地で役立つ人間関係のコツ



今月の教える人 しらかわ ちひろ 白川千尋さん

パヌアツ/マラリア風土病(感染症対策) /
1990年度3次隊・東京都出身

文化人類学者。大阪大学大学院人間科学研究科教授。総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程修了「博士(文学)」。国立民族学博物館助教授などを経て、2016年より現職。JICA海外協力隊コミュニティ開発の派遣前訓練の技術専門委員も務める。

今月のテーマ:「怒り」はどう表現するべきか？

今月の
お悩み

配属先に半年間こなかった
カウンターパートから活動を否定され、
怒鳴り合いの大げんかに
発展してしまいました。

(コミュニティ開発/男性)

上司であるカウンターパート しましたが、折り返しはありませ
(以下、CP)に会えないまま、 んでした。ところが、セミナー開
適切な役割も与えられず、放つて 催問近になってやっと配属先に現
おられました。仕方なく一人で任 れたCPは、「聞いていない。勝手
地の人たちを訪ね、困っているこ にやるな」と一言。半年間も職場
とを聞き取りし、課題を解決する に顔を出さず、電話も折り返して
目的でセミナーを計画しました。 こなかったCPに対して、今まで
その間、何度もCPに電話をか 我慢してきたものが爆発。怒鳴り
け、留守番電話にメッセージを残 合いになってしまいました。

白川先生から
のアドバイス

慎重さは必要ですが、
国によっては信頼関係を
生むケースもあります。

コミュニティ開発(旧・村落
開発普及員)の技術専門委員と
して、派遣前に訓練生に技術補
完研修(※)をしてきました。

10年ほど前になりますが、自
分が関わった隊員30〜40人の任
地に赴き、派遣前の研修が活動
に役立つのかを聞いて回っ
たことがあります。その際に任
地での人間関係の悩み事を打ち
明けてくれた隊員が複数いまし
た。今回のテーマが怒りと聞き、
思い出したのが先に挙げた一件
です。

言葉、文化、習慣の違う国で、
相手とわかり合いたいのであれ
ば、自分の感情をできるだけ相
手にわかりやすく伝えること。
それがコミュニケーションの第
一步です。言葉の壁があるなら、
ボディランゲージを交えてもい
いでしょう。しかし、喜怒哀楽
の「怒」の表現に関してだけは、
慎重にしたほうがいいかもしれ
ません。

例えば東南アジアの国々で

は、怒りの感情を社会的に嫌悪
する傾向があります。隊員たち
からも、「公衆の面前で相手に強
く怒りの感情をぶつけるのは、
相手のメンツをつぶす行為とみ
なされる。結果的に自分をおと
しめることもあるので注意して
いる」といった声を少なからず
聞きました。

私の肌感覚では、オセアニア
でもすぐに怒る人に対して、「こ
の人は人格的に問題がある」と
烙印を押す傾向があるように思
います。「パブリックな場で感
情を抑えられることは美德」と
されている国では、幼少期から
人前での振る舞い方を注意され
て育ちますから、特に負の感情
である怒りに対しては敏感に反
応してしまうのかもしれない。

ところが、同じアジアでも南
アジアは、怒りの感情も含めて
ストレートに表したほうがいい
こともあるようです。実は冒頭
の隊員の事例がそれで、CPに

抗議した隊員に対して「何も事
情を知らないおまえが勝手なこ
とを言うな」と、CPも怒りだ
し、周囲に人垣ができるほどの
怒鳴り合いにまで発展してしま
ったそうです。

しかし、数十分間言い合っ
ているうちに、実はこのCPには
別に本業があり、隊員の配属先
には無償で来ていたため、もと
もほとんど顔を出していなか
ったこと、また本業が一年で一
番忙しい時期で、ほかのことに
対応できなかったことなどがわ
かりました。お互いに胸の内を
話した結果、CPとの間に信頼
関係が生まれ、以降はこのCP
が一番の相談相手になったそう
です。つまり、怒りを爆発させ
て失敗したと思いきや、成功だ
ったのです。雨降って地固まる、
テレビの熱血ドラマのような話
ですね。ほかの南アジアの国の
隊員からも、「同僚が思ったこ
とをはっきり口に出すので驚い
たが、言ってもらって良かった」

という話を聞きました。
その隊員が活動先の同僚たち
と食事に出かけたときの話で
す。いつものように隊員から仕
事の話振ったところ、同僚
の一人が怒りだし、「なぜおま
えはいつも仕事の話ししかしない
んだ。俺たちのことが嫌いな
か」と責められたそうです。隊
員は食事の場だからこそ、ざっ
くばらんに仕事の話ができると
考えたわけですが、同僚たちか
らは「自分たちに心を開かない
日本人」と思われていた、それ
が分かったので、以降は自分の
ことを話すように心がけたそう
です。

割合的には少ないでしょう
が、このように怒りの感情も含
めて自分を出し、素直に気持ち
を伝えたほうが「腹を割ったつ
き合い」になる国もあります。
事前に同じ派遣国の先輩隊員ら
からその国の文化や慣習につい
て聞いておくと、多少トラブル
が避けられるかもしれません。



この職種の先輩隊員に注目!

～現場で見つけた仕事図鑑

#0009

「コミュニティ開発」

分類: 計画・行政

派遣中: 40人(累計:3,657人)

類似職種: 野菜栽培、観光、環境教育、マーケティングなど

※人数は2022年2月末現在。

CASE 1



ふくながてるゆき
福長輝倅さん

マダガスカル/2017年度2次隊・岡山県出身

PROFILE

大学院卒業後、中学校の非常勤講師を経て協力隊に参加。帰国後は開発コンサルティング会社「アスカ・ワールド・コンサルタント株式会社」に入社。JICAの「みんなの学校」プロジェクトに携わる。

配属先: 国民教育省アナラマンガ県事務所

要請内容: 学校運営委員会の活動のモニタリング、「学校活動計画書」の作成と実施への側面支援、学習環境の改善に向けた活動

CASE 2



いとうあいな
伊藤愛奈さん

ラオス/2018年度1次隊・三重県出身

PROFILE

大学卒業後、不動産業や旅行業でカウンター営業に従事。帰国後は日本語講師の資格を取得し、日本での生活を目指す国内外の外国人を対象にオンラインで日本語を指導している。

配属先: ウドムサイ県産業商業局販売促進課

要請内容: 特産品の販路拡大と新規顧客獲得の支援、既存製品の品質向上と新製品開発の支援、特産品展示販売センターの運営管理支援

コミュニティ開発の活動は、地域住民の生活改善や収入向上、地域活性化などに貢献することが目的だ。活動分野は、教育や地場産業振興、農業普及、保健医療など多岐にわたるが、ベースにあるのは、地域を取り巻く状況、地域の課題を理解し、住民と共に課題解決に取り組むこと。そのため、コミュニケーション能力や人と人をつなぐ調整能力、ワークショップやイベントの企画・運営能力などが求められる。

CASE 1 JICA「みんなの学校」プロジェクトと連携

地域協働型の学校経営に関心があった福長輝倅さんは、JICAがアフリカで実施している「みんなの学校」プロジェクトに関わることができると

そこで、福長さんは栄養摂取の観点から、学校の予算で大豆を栽培することを決めたが、虫に食べられて全滅するという結果になった。「実は、学校菜園を行った三つの学校の土壌はもともと大豆が育ちづらかったようです。当初は一人で始めたので、そうしたこともわからず、日本のやり方で植えてしまったのです」。

だがその失敗を糧に、その後、住民のなかから野菜作りが得意な人を技術支援のリーダーとして学校菜園の計画に巻き込み、学校菜園の活動も軌道に乗せた。

「コミュニティ開発の基本は住民に参加してもらうこと、改めて実感しました。住民に地域の課題を自分のこととして認識してもらうため、テスト結果などを数字やグラフで“見える化”することも大切だと思います」

CASE 2 一村一品運動で品質向上を支援

伊藤愛奈さんの配属先は、伝統的な織物や葛で作ったバッグやポーチといった特産品の販促活動を行っている販売促進課だ。任地のウドムサイ県は、



①当初失敗した学校菜園だが、その後地元の方や同期の農業隊員の協力も得ながら、現地の環境に合った野菜作りに挑戦
②③葛生産者への技術研修。参加した生産者が作った葛のバッグが、オーダー表に沿って作られているかをチェック



知って、協力隊に応募した。「大学院で教育学や学校経営について研究し、子どもの学力、社会性を育てるためには地域の力が重要だと考えていました。教員免許はありませんが、地域の人々と学校の活動計画を考えた」と思い、小学校教育ではなくコミュニティ開発を選びました」

任地のアナラマンガ県は、2016年に始まった「みんなの学校」住民参加による教育開発プロジェクト(※)のパイロット県だ。初代隊員の福長さんへの要請は、管轄する小学校321校の学校運営委員会を巡回し、課題を見つけ、学習環境を改善するための活動を行うこと。20校程の学校を視察した福長さんは、カウンターパートと相談しながら、具体的な活動を決めた。「課題の一つが、補習授業の改善で

かつて、麻薬を密造するゴールデン・トライアングルと呼ばれた山岳地帯に位置する。特産品の生産は、住民のケシ栽培の代替収入を確保するために国連機関が始めたものだ。販売促進課はその活動を引き継ぎ、生産者の現金収入向上を目的に、特産品の買い取り、生産指導などを行っている。

最初の1年、伊藤さんは販売促進課が主催するイベントに1スタッフとして参加するほか、他県で活動する同職種の隊員と共に、販促のためのイベントを企画・実施した。また商品の発注・品質チェックなどを同僚と行いながら、特産品についての知識を蓄え、同僚や生産者との関係性を深めた。

2年目になると、品質向上のための技術研修の実現に向けて動き始めた。生産者によって技術に大きな差があり、同じ品質の商品を数多く生産するのが難しいことが、課題となっていたからだ。ベトナムに出張した際、ラオスの葛製品への関心が非常に高いことを知り、特産品としてのポテンシャルの高さを実感したことも、伊藤さんの原動力となっていた。

ラオスでは、地域の特産品を選定する「一村一品運動」が展開されている

す。学力改善のために、教師と地域住民が計画した補習授業ですが、何を、どのように教えてよいか困っている状況でした。そのため、補習授業で使える指導技術の研修会を実施しました」プロジェクト本体やカウンターパートによる国語の音読と算数の研修会には、計100校の教師が参加し、指導技術の改善だけでなく、テスト結果にも改善が見られた。

ほかに、学校と地域住民による住民会議を活発化するための改善案の提示、学校で使用されている調理場への改良かまどの設置や学校菜園づくりなどにも取り組んだ。

学校菜園では失敗も経験した。マダガスカルの一部の地域では学校菜園が義務づけられているが、畑が放置されたままのところも少なくなかった。

しかし、県内の葛製品で認定されているのはマイン村のみ。ほかの村は技術力が足りず認定には至っていない。村同士には交流がなく技術の移転もなかった。そこで、伊藤さんはマイン村の生産者リーダーを講師として招き、近隣の村に技術指導をしてもらうことを提案し、実施にこぎ着けた。

「研修では、取引先が希望する商品のデザインや規格を記載したオーダー表を導入しました。生産者がオーダー表に沿って作った商品の仕上がりや講師が採点することで、自分がどのレベルにあるのか、どこを改善すればよいのかがわかります」

心残りは、7月までの予定だった活動が、新型コロナウイルス感染拡大により、残り2回の研修を終えられないまま3月に急ぎ帰国となったこと。

「コミュニティ開発は、任地で見つけた課題をどう解決するか。決まった方法はなく、そこが面白い部分です。一方で、いい方法を考えるだけでは何も進まないことを実感しました。後輩の皆さんには、これだと決めた課題に少しずつでもアクションを起こし続けてほしいです。自分ができることが必ず見えてきますから」

活動の基本

「対住民」コミュニティに入り込み、積極的に住民と関わっていくこと

みんなの教材づくり & アクティビティ

海外協力隊OVが派遣国の活動や生活で実践した、お役立ちアイデアをご紹介します。

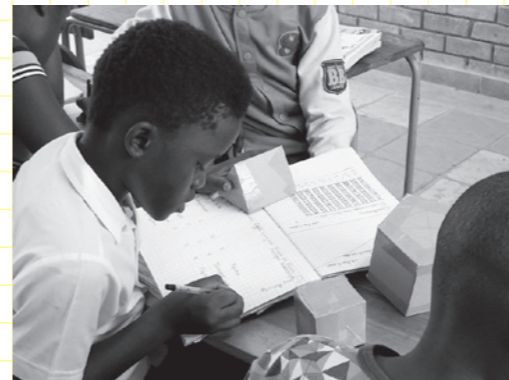
手作りの教材で算数教育を支援

南アフリカ共和国の首都プレトリアの地域教育事務所所属し、ヘイジービューという地域の5つの小学校を巡回しました。小学4年生から中学1年生の授業の改善のため、延べ20人の現地教員に指導を行いました。

アパルトヘイトの影響で十分な教育を受けられなかった世代の教員には、三角定規や分度器が正しく使えない人もいました。だからこそ算数教育向上のための支援が必要だと実感しました。わかりやすい授業のため、ホームセンターなどで調達できる材料で簡単な教材を手作り。一部の教員にはよく理解してもらえ、授業にも生かされました。



今月の先生
 ふじい ゆういち
藤井祐一さん
 (SV/バヌアツ/理科教師/2010年度4次隊、SV/南アフリカ共和国/数学教育/2014年度4次隊、2018年度4次隊・山口県出身)
 現在は公立高校の非常勤講師として、また週末はボランティアで、小学生や高校生に算数・数学を教えている。

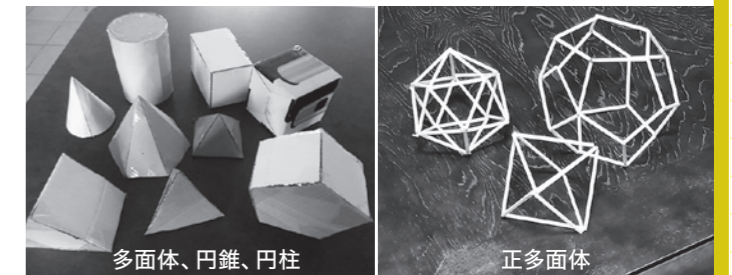


藤井さんが作った多面体の模型を使い、学ぶヘイジービュー地域の小学生。模型は、子どもたちが机上で扱いやすい大きさにしました

多面体の模型で図形の理解を深める

ストローで作った正多面体の模型は、軽いので手に持ってさまざまな角度から見る事ができ、正多面体を理解するのに便利です。

「辺」や「点」「頂点」の数や、そこから見いだせる特徴など、平面で表すだけではイメージしづらい内容を、目で見て手で触って体感することができます。



厚紙で作ったさまざまな模型

材料: ストロー、ゴムひも
作り方: 等分に切ったストローにゴムひもを通して作製。それぞれの多面体の辺の数のストローを用意する(右図参照)。

活動のヒント

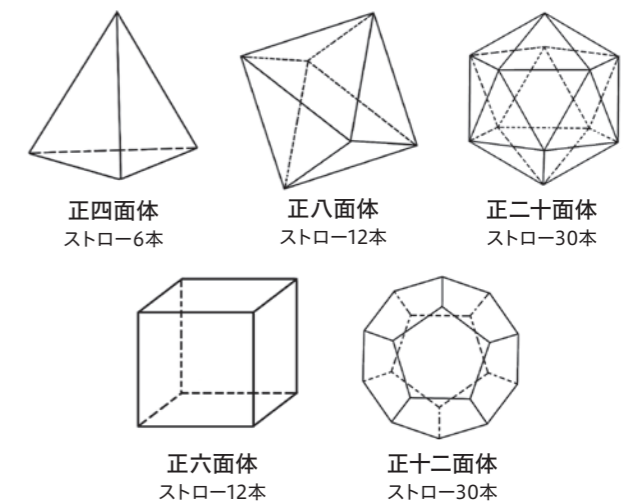
正多面体とは、すべての面が合同な正多角形で、各頂点に集まる面の数がすべて等しい、へこみのない多面体のこと。多面体の頂点を形成するには、1つの頂点に集まる面が最低3つ必要です。

●面が正三角形の場合、頂点に集まる面が3つ→正四面体、4つ→正八面体、5つ→正二十面体となりますが、6つだと360°となり平面となるため頂点が形成されず、正多面体は成り立ちません。

●面が正方形の場合は正六面体、正五角形では正十二面体が成り立ちます。

●面が正六角形の場合は、面が3つ集まると平面となるため頂点が成り立ちません。

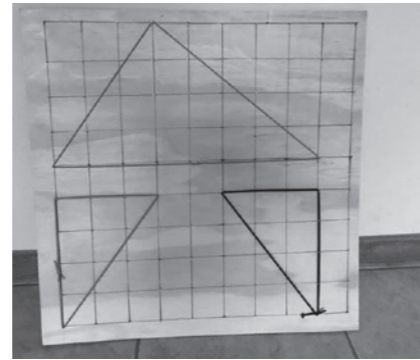
よって、正多面体は右記の5種類のみであることがわかります。



正四面体 ストロー6本
 正八面体 ストロー12本
 正二十面体 ストロー30本
 正六面体 ストロー12本
 正十二面体 ストロー30本

ジオボードで図形の面積を理解

ジオボードを使うと、図形についてのイメージ力を高めることができます。板に10行×10列、合計100本のピンを打ち、ゴムひもをかけて図形を作ります。色の違うゴムひもを用意すると、図形の比較や確認に役立ちます。



木板はピンの長さに合わせて、厚みのあるものを選びましょう

材料: 木板、ピン100本(細い釘)、カラーゴムひも適量
作り方: 木板に10行×10列の等間隔にピンを打つ。

活動のヒント

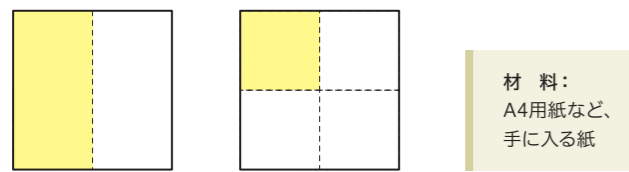
三角形の面積は「(底辺)×(高さ)×1/2」ですが、まず三角形を作り、それを2倍にして四角形を作ってみると公式が理解しやすくなります。平行四辺形の面積「(底辺)×(高さ)」も同様に、平行四辺形を三角形と四角形に分けて説明するとわかりやすくなります。

分数の計算に折り紙を活用

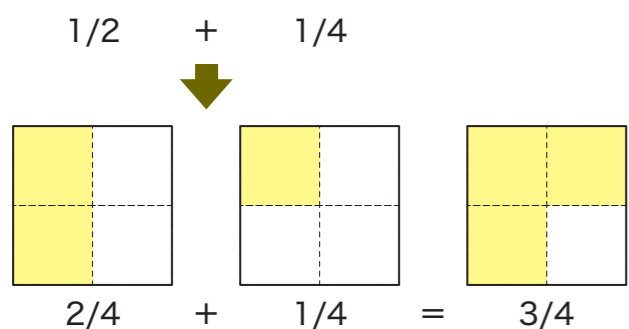
分数の足し算や引き算では、折り紙を使いました。とはいえ、現地では正方形の折り紙が入手しにくかったので、A4用紙から正方形や六角形を作り出しました。

活動のヒント

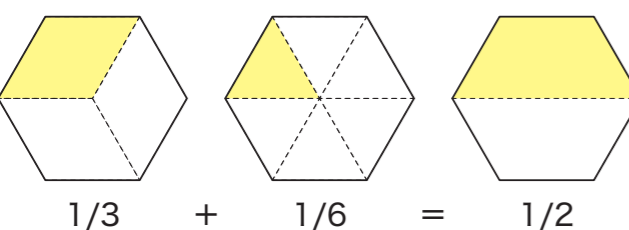
●例えば「1/2+1/4」の答えを求める場合、正方形の紙を2枚用意し、違う大きさのものは足せないから、同じ単位にそろえなくてはならないことを説明しました。



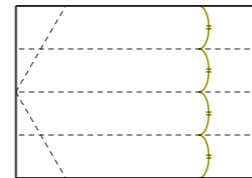
材料: A4用紙など、手に入る紙



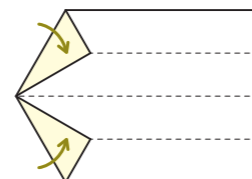
1/3や1/6の説明は、六角形の紙を使うと便利です。



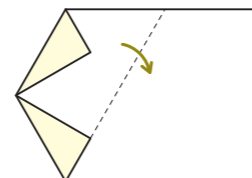
A4用紙から六角形を作る方法



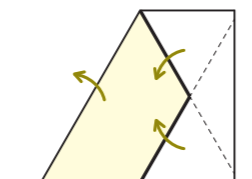
① A4の紙を横位置に置き、半分、さらに半分の折り筋をつける



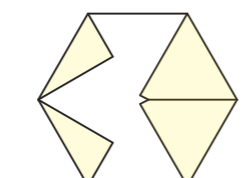
② 2つの角を、折り筋に合わせて折る



③ 点線部分を折る



④ ③で折った部分の端に合わせて、点線部分を折る。③で折った部分は開く



⑤ 六角形の出来上がり。不要な部分は切り取っても

シューカツ記

帰国後、内定までの
就職活動の方法を聞きました。

文化に合った保育環境を
どのようにつくるか
日々考えています



今月の先輩

武元理子さん Riko Takemoto

エジプト/幼児教育
2017年度4次隊・京都府出身

就職先：
ロンドンの日系幼稚園

※英国教育省認可を受けた日系の全日制私立幼稚園

事業概要：在英邦人子女を対象に、日本語の習得を大前提として国際語である英語を習得する環境を整える

武元理子さんの略歴：

- 1991年 京都府生まれ
- 2011年 4月 短大卒業後、京都府精華町役場入職。公立保育園の保育士として勤務
- 2018年 3月 青年海外協力隊員としてエジプトに赴任
- 2020年 3月 帰国
- 2021年 4月 ロンドンの日系幼稚園に入職。2歳児クラス担任

JICA海外協力隊ウェブサイト
「帰国隊員の進路開拓についての相談受付」

https://www.jica.go.jp/volunteer/obog/career_support/counselor/

※進路相談の対象は、青年海外協力隊および日系社会青年海外協力隊の経験者のみとなります。 ※対応可能な日は希望進路の分野によって異なりますので、あらかじめ電話またはメールでのご連絡をお願いします。



保育士としての経験を途上国の子どもたちのために生かしたいと協力隊に参加した武元理子さん。それまでの勤務先は、休職してボランティアに参加する「現職参加」が可能だったが、任期終了後は海外で子どもに関わる仕事をしたいという思いもあり、退職して協力隊に参加することを決めた。

任地は、紅海に面したエジプトの都市ハルガダ。イスラムの国での活動は、文化に合った保育を考えるきっかけになったという。例えば、エジプトでは保育士が全身を覆うアバヤと呼ばれるワンピースタイプの衣装を着ているため、日本のように保育士が園児と一緒に

1 協力隊時代 2018年3月～



どこでも手に入る段ボールなどを材料にした手作りおもちゃ

配属先は、全国の障害者施設、孤児院、保育園などを管理する社会連帯省のハルガダ支局です。NGOが運営する公立保育園13園を巡回し、「遊びを通じた学び」の実践と定着に向け、保育現場の改善、保育士能力の向上を図るというのが要請内容でした。配属先にはこれまで幼児教育隊員が何人か赴任しており、前任者の活動を引き継ぐ形で赴任したので、カウンターパートや保育士、園児たちもスムーズに私を受け入れてくれました。活動で意識したのは、おもちゃ作り、遊びなどの過程で現場の保育士を巻き込むことです。ワークショップを提案し、保育士同士の交流や技術向上の機会も設けました。

2 帰国 2020年3月

「海外」「幼稚園」「保育士」「資格」「日本人学校」などをキーワードにネット検索し、保育士資格・幼稚園教諭免許があれば海外で働ける場所を探しました。ホームページを見て気になったところには、求人の有無に関係なく問い合わせのメールを送りました。また、海外の教育関係の求人が掲載されている「JEGS International(<https://www.jegsi.com/>)」というサイトも小まめにチェックをしました。現在、勤務している日系幼稚園の求人情報もここで見つけました。ホームページを確認し、日本の文化、幼児教育を大切にしながら、イギリスの教育も取り入れ保育をしているところに引かれ、応募することにしました。

3 書類提出 9月中旬

提出書類 ▶ 履歴書、職務経歴書

日系の幼稚園なので、日本人駐在員の子どもの多いのですが、初めて海外で生活をするご家族は、不安も大きいと思います。私自身、協力隊員として初めて海外で生活するにあたっては不安も感じました。その経験は、駐在員の家族にも通じると思っています。志望動機欄にはそのことを踏まえ、保護者と園児に寄り添って保育できることが自分の強みであると書きました。

4 オンライン面接&設定保育 10月下旬

イギリスにいる園長先生と採用担当の職員とのオンラインによる面接では、協力隊の経験から得たことで、幼稚園教育に生かせることについて聞かれました。設定保育とは、幼稚園の職員2人を相手に絵本の読み聞かせやカード遊びなどをする模擬保育です。大人を相手に、しかも画面越しに保育をするのは初めてのことで緊張しましたが、とても面白い経験でした。

5 内定 11月末

内定はもらいましたが、まだ採用は正式決定ではありません。イギリスでの就労ビザを取得するために、英語検定のIELTS (International English Language Testing System) (※) スコアが必要になります。そのスコアがないとビザが取得できず、内定も取り消しになります。1月初旬が試験だったので、内定が出てから1カ月は、英語の勉強に集中しました。

採用決定、2021年4月入職

渡英の当日、空港で書類に不備が見つかり出国できずしがく然。航空券や書類の再手続きなど想像以上に大変で、忘れられない思い出になりました。

に運動遊びをすることが難しい。また、イスラム教徒には1日5回、礼拝の義務があり、アザーン(礼拝への呼びかけ)が響き渡ると、園児も遊びをやめて、みんなで静かに過ごす。

「日本式の保育をそのまま伝えるのではなく、その国の文化に合わせて遊びを通じた学び」ができる環境をつくるのが大切だと感じました」

就職について考え始めたのは、任期終了の半年くらい前から。再び日本で働くという選択はなかったが、保育士の経験を生かせる海外の就職先に、どのようなところがあるかも、よくわかっていなかったという。そこで、幼児教育や小学校教育のOVたちに話を聞き、先輩隊員がどんなところに就職したのか情報を収集した。

「そのなかで、ドバイの日系幼稚園に就職した先輩がいるという話を聞き、そういう道もあるのかと思うようになりました」

ロンドンの日系幼稚園の求人情報を見つけたのは、ネットで見つけた教育関係専門の求人サイトだった。

「国にこだわりはありませんでしたが、日本とエジプトで保育を体験したので、次はヨーロッパのイギリスの保育を見てみるのも面白いかもしれないと思って」と武元さん。

現在は2歳の園児たちを相手に、奮闘の毎日を送っている。

現在の仕事

勤務先の全日制幼稚園では、2歳～5歳まで約70人のお子さんを預かっており、私は2歳児クラス(14人)の担任をしています。日系の幼稚園なので、日本人駐在員のお子さんが多いのですが、なかには、日本の文化や言語に興味を持って子どもを入学させる外国籍の方もいます。いろいろな国籍の子どもたちが一緒になって学び、生活することは、日本ではなかなかないので、私にとっても貴重な経験になっています。



先輩へメッセージ

どこに就職したらいいのか悩んだら、就職活動からちょっと離れてみるのもいいと思います。私の場合、東京2020オリンピック・パラリンピックでエジプトの柔道選手を受け入れることになっていた自治体から、市民の方向けにエジプトを知ってもらうための講演依頼を受けたことが、いい機会になりました。帰国直後は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、海外に就職すべきか悩むこともありましたが、2年間の活動や、そこでの文化や生活を振り返ることで、次に何をしたいのか整理できた気がします。先輩隊員を頼って、いろいろと話を聞くのもお勧めです。

北山さんの歩み

2010年大学在学中、上海に留学。卒業後、国際貨物輸送代理店に入社。



大学のゼミで、フィリピンのバナナ農園の児童労働の問題を知りました。何げなく口になっているものが誰かの犠牲のうえに成り立っていると気づき、ショックでした。

2013年、会社を退職し、協力隊員としてバングラデシュへ。ディナジプール県シヨドール郡で活動。



農業を専門的に学んだ経験はありませんでしたが、現地の農業大学で日本に留学していた先生に出会うことができ、村の人に役立つ農法と一緒に考えてくれました。バングラデシュでは、助け合いながら生きる楽しさを学びました。

2015年10月、地域おこし協力隊として徳島県神山町に赴任。



地元のおじいちゃんやおばあちゃんのパワーに魅了されました。自然のなかに溶け込んだ日常が宝物のようでした。

2019年、神山くらしの宿moja houseをオープン。



テーマはおいしい、楽しい。神山の旬の野菜を使ったバングラデシュカレー作りも体験できます。

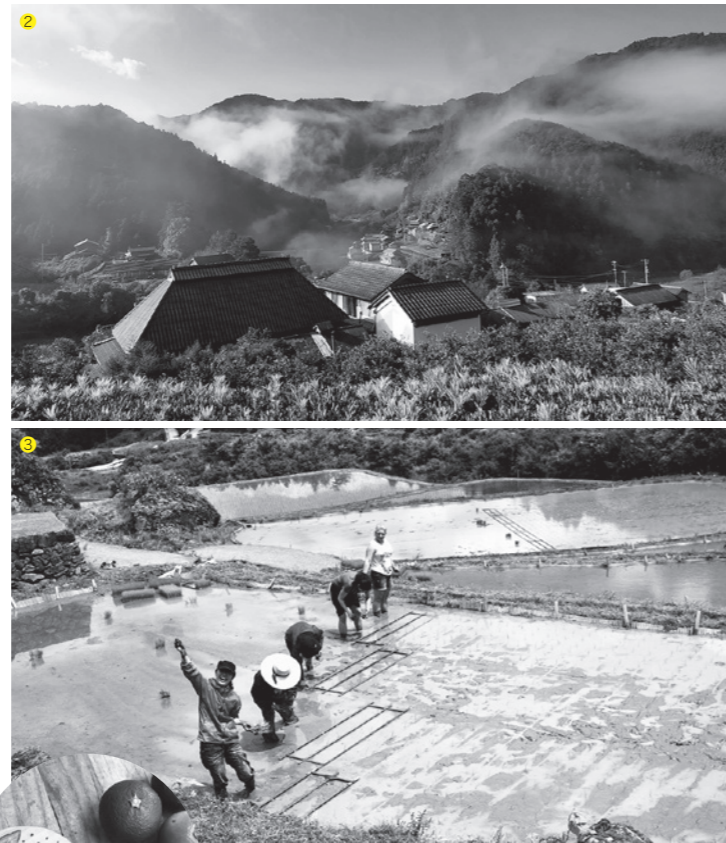
2021年、結婚



夫婦で狩猟免許を取りました。一人ではできなかったトラクターやチェーンソーを活用した農作業ができるようになり、移住相談にも地元目線で応えられるようになってきました。



野菜をたっぷり使ったスパイスカレー



① 隊員時代、村の人たちと一緒にミミズ堆肥作りを行った
② ゲストハウスから眺める山々
③ moja houseの田植え体験を楽しむ外国人宿泊客。手前が北山さん
④ 神山特産のすだち。手作りドレッシングもよく作る



派遣から 始まる 未来



進学、非営利団体入職や
起業の道を選んだ先輩隊員

▶ moja house 起業

北山歩美さん(旧姓:川野) Ayumi Kitayama

バングラデシュ/コミュニティ開発/2013年度2次隊・千葉県出身

おいしい、楽しい 体験型ゲストハウスmoja house

四国・徳島県。市街から車で40分ほど走った先に、人口約5000人の神山町がある。高齢化率約54%^(※)、山々に囲まれた限界集落だが、近年、企業のサテライトオフィス開設や移住者の増加で注目を集め、地方創生の聖地と称される。この町でゲストハウス「moja house」を運営する北山歩美さんは、町の人に「モジャ」と呼ばれている。

モジャとは、おいしい、楽しいを意味するベンガル語だ。「神山町移住のきっかけは協力隊の2年間。バングラデシュにいたときのようにわいわい言いながら、山と川のある町で地域に根差した暮らしがしたかったのです」。

さかのぼること十数年前、北山さんは大学で国際文化学を学び、上海留学も経験した。「海外で働きたい」との思いを抱き、国際貨物輸送代理店に就職した。しかし、海外赴任の機会はなかなか訪れず、3年後、協力隊の中吊り広告を見て応募。合格と同時に仕事を辞め、バングラデシュへ渡った。

少数民族の生活改善を支援する現地NGOに配属され、地域の女性グループに手工芸品や農作物の生産・販売を提案した。なかでも、土のう袋に手作りの肥料を入れて野菜を育てる「マイクロガーデニング」は手応えがあった。洪水被害を受けた地域でヒントを得たこの農法は、土地なし農民でも実践できるとして村人も興味を示し、北山さん

するなど地域内外の人に関わってもらい、開業前にはお披露目を開いた。

19年にオープンしたゲストハウスは、最大8人が宿泊でき、田畑での野菜や果物の収穫、梅シロップ作りなど季節に合わせた体験を楽しめる。「昔から脈々と続く暮らしや文化を、旅人と地域の人がかち合えるような空間にしたい」という北山さん。初年の宿泊客は国内外から100組を超えた。翌年、新型コロナウイルスの影響で一時的に休業を余儀なくされたが、遠方からの宿泊客が減った分、町内の家族連れなどが利用してくれて、新しい出会いもあった。最近では、23年開校予定の「神山まるごと高専(仮称)」の視察に訪れる人の宿泊も多い。

宿を営む傍ら、神山に伝わる伝統芸

んは村々でワークショップを実施した。「定着すればと奮闘しましたが、一過性のイベントで終わってしまい空回りの時期もありました」と北山さん。他方、積極的なリーダーなどがいたグループでは、伝えた方法を実践し、上手に野菜を作っていた。地域活性化の取り組みに正解はないが、コツがあるとなれば、人々と同じ目線で自分自身も心から楽しむこと。そう気づいた北山さんは、帰国後も地域に根を張り、地域を元気にする活動をしようと、「地域おこし協力隊」を選んだ。

数ある自治体のなかから神山町に決めたのはなぜか。「縁もゆかりもない町ですが、友人から神山が面白いと聞いたのがきっかけ。神の山ってすごい名前だと思って調べたら、ちょうど地域おこし協力隊を募集していました」。

地域おこし協力隊で配属されたのは、神山特産のすだちや梅をはじめ、町の魅力を発信するNPO法人里山みらい。町役場や農家、デザイン会社、商工会議所などが集まって2014年に発足し、北山さんは飲食店と農家をつなぐ「東京すだち廻路」や「里山みらい新聞」の発行などに携わった。

地域の魅力を発信するなか、気軽に泊まれる宿がないと気づき、「ないならつくろう!」と物件探しを始めた。そして、たどり着いたのが築150年の古民家だ。改修にあたっては漆喰の壁塗りや床張りのワークショップを実施

能「小野さくら野舞台」や阿波おどりの「桜花連」に参加し、地域の歴史や文化に触れる時間も楽しんでいる。また、仲間と共に米作りに挑戦したり、冬の閑散期にはオーストラリアで農業を使わない循環型農法を学んだり、「サステイナブルな宿のオーナー」としての知名度も上がってきた。

「自然の恵みを受けながらの暮らしに満足しています」。そう話す北山さんは昨夏、神山町の男性と結婚した。町の人は二人の結婚を実の娘や息子のよう喜んでくれて、北山さんは改めて町の温かさを実感している。今春、伝統芸能からくりや阿波おどりなど神山の文化を盛り込んだ式を挙げる。地域の一員として、これからは二人三脚で町を盛り上げていく。



待ってます、あなたを！
各界からのエール

From 認定NPO法人

難民を助ける会

2015年にネパール大地震が起こった際、AARは緊急支援チームを派遣して緊急支援物資の配布などの活動を行った



途上国での経験と強みを生かして 国際協力を一生の仕事に

AAR Japanは、1979年の創設以来、世界65以上の国と地域で紛争や貧困、自然災害などに苦しむ人々に支援を届けてきました。難民や避難民などの数は年々増え続け、現在、過去最多の8,240万人を記録しています※。埋もれがちな弱者の声を拾い、誰一人取り残されることなく、人間としての尊厳をもって共生できる社会をつくるために、私たちは支援対象を広げています。

人間社会の根本は、人と人が行き来し、触れ合うことです。私たちも、自分の足で現地に行き、人と関わり、肌で感じたことを大切に活動してきました。しかし、コロナ禍で移動が制限され、困難な状況にある人の声を直接聞くことができず、支援の難しさを痛感しています。物資の支援やオンラインでの啓発活動などに努めていますが、できる限り多くの人に支援を届けられるよう体制を強化していかなければなりません。

JICA海外協力隊の皆さんは、常に現場を一番に考え、現地の人と同じ目線に立って行動できるという強みがあり、それは私たちとの共通点でもあります。適応力やコミュニケーション能力の面でも安心感があり、AAR Japanでも80年代初頭より、OB・OGを派遣しています。

日本は海外とつながらなければ存在できない国です。開発途上国に身を置き、貴重な体験をしてきた皆さんは、海外と日本をつなぐ懸け橋となれる存在です。そのことを忘れずに、国際協力を一生の仕事としてほしいと思います。



堀江良彰さん

認定NPO法人 難民を助ける会 略称：AAR Japan 理事長

ほりえよしあき ● 東京都出身。大学院修了後、民間物流企業に勤務。2000年よりAARへ。チエチエ、難民支援、アフガニスタン支援事業などに従事する。事務局長代行、専務理事・事務局長を経て、21年7月より現職。

水シャワーで

すつきり目覚める

ニカラグアの朝

太平洋とカリブ海の間、中央アメリカの国、ニカラグア。

この国では、朝、耳を澄ますと各戸からシャワーの音が聞こえてくる。首都・マナグアの最低気温は20℃前後と温暖なもの、標高の高い地域は気温が低く寒い。それでも人々は水でシャワーを浴びる。しかし、残念なことにその水の安定した供給はままならない。

私が住んでいたヒノテペ市もしくりで、水が出る時間が朝6時〜8時、任地の思い出を聞きました。

あの日、

地球の、

あの場所で。



Illustration = 牧野良幸 Text = 浦澤 修

夜6時〜8時と、制限があった。そのため、シャワー中、水が止まることが何度もあった。頭はシャンプーの泡でモクモクのまま。赴任したばかりの頃は慌てたけれど、慣れてしまえば、日常となる。桶にためていた水を使うか、なければ冷蔵庫のペットボトルを取り出して使う。雨が降れば、屋根から流れ落ちる水で頭を洗い流すこともある。

たえお湯の出ない冷たい水のシャワーで、さらに水の供給が不安定でも、人々が朝シャワーを浴びるのには理由がある。それは、身だしなみに人一倍気を使う国民性からだ。

任地での水シャワーは寒すぎて最初は慣れなかったが、任地の後半には私もすっかり慣れてしまった。ニカラグアで過ごした日々の癖が抜けきらず、日本に戻ってきてからも、朝はシャワーを浴びている。(もう水ではなく、お湯だけだ)

さあ、今日も朝シャワーを浴びて、シャキッとした気持ちで出かけよう。

矢田部建佑さん

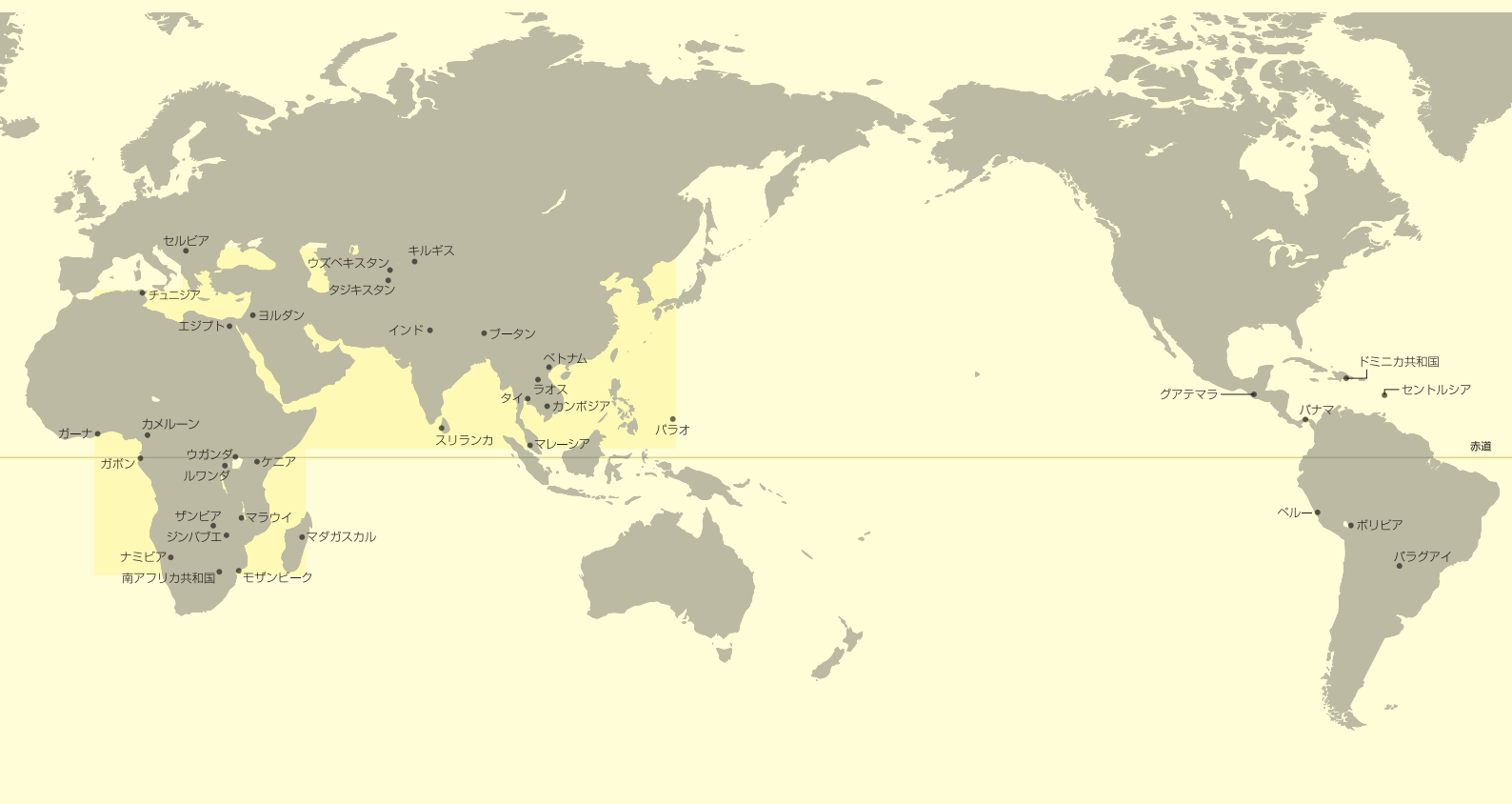
ニカラグア／小学校教育／
2015年度4次隊・埼玉県出身

現在の派遣国数

36カ国

JICA 海外協力隊派遣現況

(2022年2月末現在)



(単位:人)

■ アフリカ地域

| 国名 | 一般 | シニア |
|----------|----|-----|
| ウガンダ | 23 | |
| ガーナ | 9 | |
| ガボン | 10 | 2 |
| カメルーン | 13 | |
| ケニア | 28 | |
| ザンビア | 1 | |
| ジンバブエ | 6 | |
| ナミビア | 9 | |
| マダガスカル | 12 | |
| マラウイ | 19 | |
| 南アフリカ共和国 | 4 | |
| モザンビーク | 8 | 2 |
| ルワンダ | 16 | |

■ アジア地域

| 国名 | 一般 | シニア |
|---------|----|-----|
| インド | 1 | |
| ウズベキスタン | 3 | |
| カンボジア | 8 | |
| キルギス | 2 | |
| スリランカ | 4 | |
| タイ | 10 | 1 |
| タジキスタン | | 1 |
| ブータン | 3 | 3 |
| ベトナム | 16 | |
| マレーシア | 6 | 4 |
| ラオス | 16 | 4 |

■ 大洋州地域

| 国名 | 一般 | シニア |
|-----|----|-----|
| パラオ | 6 | 2 |

■ 欧州地域

| 国名 | 一般 | シニア |
|------|----|-----|
| セルビア | 6 | 1 |

■ 中東地域

| 国名 | 一般 | シニア |
|-------|----|-----|
| エジプト | 11 | |
| チュニジア | 7 | |
| ヨルダン | 8 | |

■ 中南米地域

| 国名 | 一般 | シニア | 日系一般 | 日系シニア |
|---------|----|-----|------|-------|
| グアテマラ | 2 | | | |
| セントルシア | 2 | | | |
| ドミニカ共和国 | 5 | | 5 | |
| パナマ | | 1 | | |
| パラグアイ | 6 | 1 | | |
| ペルー | 1 | 1 | | |
| ポリビア | 3 | | | |

■ 合計

| | 一般 | シニア | 日系一般 | 日系シニア | 小計 |
|----------------|---------------------------|------------------------|--------------------|------------------|---------------------------|
| 派遣中 (男性/女性) | 284 (124/160) | 23 (14/9) | 5 (1/4) | 0 | 312 (139/173) |
| 累計 (男性/女性) | 46,070 (24,430/21,640) | 6,576 (5,312/1,264) | 1,546 (597/949) | 547 (252/295) | 54,739 (30,591/24,148) |

一般 = 青年海外協力隊/海外協力隊

シニア = シニア海外協力隊

日系一般 = 日系社会青年海外協力隊/日系社会海外協力隊

日系シニア = 日系社会シニア海外協力隊

INFORMATION

JICA青年海外協力隊事務局からのお知らせ

NEWS

トンガから「世界の笑顔のために」プログラムの返礼品が到着しました

2021年度春募集「世界の笑顔のために」プログラムにてトンガへそろばん1540丁をお送りしたところ、トンガから寄贈者へ多くの返礼品をいただきました。返礼品の輸送は、22年1月15日に起きた火山噴火などの影響により一時止まっていたが、1月末にトンガを出発し、日本に到着しました。返礼品はうちわが46枚、壁掛け34個、カバン26個など、合計140個にも及ぶトンガの伝統工芸品で、そろばんを寄贈いただいた14の団体・個人に届けられました。返礼品をお送りするにあたり、寄贈者にその旨お伝えしたところ、「このたびの災害で大変な状況かとお察しします。そのなかでのお礼状、お礼の品までご用意していただいたことを非常に嬉しく思います」「トンガの皆様からお礼の品をいただけるとのこと、思ってもいなかったことで、驚きました。本当にありがとうございます。コロナや火山の影響が心配ですが、トンガの皆様が安心して生活できることを願っています。JICAの皆様の長年のご活動がこのようにならなって、今回私もその一人として参加させていただけたこと、感謝いたします」など、たくさんの温かいお言葉をいただきました。



2月25日に兵庫県小野市で返礼品引き渡し式が行われた(写真左:蓬萊務小野市長、写真右:佐藤恭仁彦JICA関西所長、写真提供:小野市)

NEWS

2021年度のJOCV枠UNVが活動中

JOCV枠UNV制度は、協力隊経験者のキャリア形成支援の一環として、国連ボランティア計画 (UNV) のボランティアに協力隊経験者が参加する場合、その費用をJICAが負担する制度です。この制度で、2021年度は11名の派遣が決定し、現在下記の八つの国連機関で活動中です。コロナ禍の影響により、半数以上は現居住地からリモートワークを行ったのちの赴任となりました。

国連開発計画 (UNDP) …ブータン、タイ、東ティモール、ラオス

国連常駐調整官事務所 (RCO) …カメルーン

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) …イラン

国連児童基金 (UNICEF) …マダガスカル、ウガンダ

国連食糧農業機関 (FAO) …モザンビーク

国連世界食糧計画 (WFP) …タンザニア

国連教育科学文化機関 (UNESCO) …エチオピア

JOCV枠UNVで派遣される方には、各国連機関におけるSDGs推進への貢献、JICAや日本の協プロジェクトとの橋渡し役、パンデミックにおける各国・地域の課題解決などにおいて、協力隊経験を生かした活躍が期待されています。22年度の募集は5～6月、活動開始は10～12月を予定しています。募集情報の詳細はウェブサイトをご参照ください。

https://www.jica.go.jp/volunteer/obog/career_support/unv/index.html



PROGRAM

訓練所VR体験動画がYouTubeで公開!

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所の皆様のご尽力により、JICA海外協力隊事業初のVR動画が完成し、JICA青年海外協力隊事務局公式YouTubeチャンネルで公開中です。ぜひご覧ください。

[360°動画] 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所



VR
施設訪問



VR
語学授業体験



VR
体験入隊

クロスロード [2022年4月号]

第58巻第3号 通巻675号
発行日 2022(令和4)年4月1日

編集・発行: 独立行政法人国際協力機構
青年海外協力隊事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1竹橋合同ビル

制作協力: 一般社団法人協力隊を育てる会『クロスロード』編集室
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-7昇龍館ビル2階
ロゴタイプデザイン・誌面デザイン: (株)AND
印刷・製本: 弘報印刷(株) 校正: 佐藤智也

『クロスロード』は、
JICA海外協力隊のウェブサイト
でも公開しています。



本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。
アイデアも大募集中です。

今月号の『クロスロード』はいかがでしたか。ぜひご意見やご感想を編集室のメールにお寄せください。「こんな記事があれば活動先で役立つのに」「こんな記事なら読みたい」といったご要望やアイデアも随時募集しています。

『クロスロード』編集室
crossroads@sojocv.or.jp



編集後記

JICA事務局: そろばんの返礼品がトンガを出発する直前に、トンガの火山噴火が起きました。噴火後の大変な中にも関わらず、トンガの皆様のお気持ちと共に無事日本に到着。届けるためにトンガや日本国内でご尽力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。(脇田雄気)

クロスロード編集室: 過去の「クロスロード」には、先輩たちの活動の知恵や体験談がぎっしり。これを使わない手はない!と、4～5月号特集では過去の記事を掘り起こし、「任期序盤の過ごし方」「後半の過ごし方」に活用する試みを行いました。来月もお楽しみに!(干川美奈子)

隊員めし

現地で作った日本食、日本で作る現地めし

パラグアイ



井上順子さん (旧姓 菊山)

パラグアイ/家政/1987年度2次隊・三重県出身
(栄養士、日本語ボランティア教室「伊賀日本語の会」代表、NPO法人「伊賀の伝丸」副代表)
兵庫県の学校栄養士を退職して協力隊に参加。帰国後に復職したが、退職し、出身の上野市(現伊賀市)に戻り、日系ブラジル人やペルー人の児童らに小学校で日本語学習指導を行う。その後、伊賀市が在住外国人の人々と共に楽しく暮らせる町になるよう多文化共生活動に従事。いろいろな国の料理を提供するレストラン「ぼれぼれ家」も経営した(2021年12月閉店)。

現地で作った日本食

「おからハンバーグ」

隊員時代にバスでたまたま隣り合わせた方が、住んでいた町のウブクイ農業高校の先生でした。任地で豆腐を知る人は多くはありませんでしたが、その先生は来日経験があり、食品加工の授業で生徒たちに豆腐の作り方を教えてと頼まれました。現地で豆腐を作ったことがなく少し焦りましたが、日系移住地の豆腐店で作り方を教えてもらって事なきをえました。豆腐作りの実演後、出来上がった豆腐と、残ったおからを使ったハンバーグの両方を試食してもらったところ、生徒たちには後者のほうが好評でした。

●材料(4人分)

| | | | |
|-----|--------|--------|------|
| おから | 160g | 牛乳 | 大さじ2 |
| ひき肉 | 250g | しょうゆ | 大さじ1 |
| 玉ねぎ | 1/2個 | 塩、コショウ | 少々 |
| 卵 | 1個 | サラダ油 | 大さじ1 |
| 片栗粉 | 大さじ1/2 | | |

●レシピ

- ①玉ねぎはみじん切りにし、サラダ油で炒め、塩、コショウをして、冷ます
- ②ボウルにひき肉、おからを入れ、白くなるまでよく練る
- ③②に①の冷めた玉ねぎを加え、さらによく練る
- ④③に卵、片栗粉、牛乳、しょうゆを加え、よく混ぜ、塩、コショウをする
- ⑤④を8等分にし、空気を抜きながら、小判形にする
- ⑥フライパンにサラダ油を入れ、中火で熱し、⑤を並べ、中火で焼き目が付いたら、ひっくり返し、ふたをして、弱火で5分ほど焼く
- ⑦仕上げに中火にし、両面をこんがり焼く

<編集室で再現した感想>
難易度 ★★★★★
達成感 ★★★★★

いつものハンバーグよりかなりしっとり感のあるハンバーグになりました。おからパウダーでなく真空パックのおからを使うので、粉っぽさもなく混ぜやすいと思いました。タネが軟らかいので、焼くときに崩れないかが心配でした。肉も入っているので満足感があります。味づくししょうゆを使っているので、大葉を添えても合いそうです。

日本で作る現地めし

「ミラネッサ」と「マンジョカ フリッタ」

どちらも伊賀市で経営していた「ぼれぼれ家」の人気メニューです。牧畜が盛んなパラグアイでは牛肉をよく食べます。たたいて薄くするので、硬い肉も食べやすくなります。現地では甘くないクッキーを砕いたものを衣にしますが、日本では細かいパン粉を使っていました。味をつけて揚げるので、ソースは要りません。マンジョカはパラグアイでは主食となる芋で、蒸したものをよく食べました。日本でもゆでた冷凍品がブラジル食材店などで手に入りますし、栽培している方もいます。

●材料(4人前)

| | |
|--------------|-------|
| <ミラネッサ> | |
| 牛もも肉 | 320g |
| 塩 | 少々 |
| コショウ | 少々 |
| レモン | 1個 |
| ニンニク | 2かけ |
| 小麦粉 | 約100g |
| 卵 | 2個 |
| パン粉 | 約100g |
| 揚げ油 | |
| <マンジョカ フリッタ> | |
| マンジョカ芋 | 160g |
| 塩 | 少々 |
| 揚げ油 | |

●レシピ

- <ミラネッサ>
- ①牛もも肉を肉たたきで薄く延ばし、塩、コショウをし、適当な大きさに切る
 - ②レモンを搾り、ニンニクをすりおろす
 - ③パットに①の肉を並べ、②のレモン汁とすりおろしニンニクを加え、30分程度置く
 - ④肉に小麦粉、溶いた卵、パン粉の順でつける
 - ⑤180℃に熱した油できつね色になるまで揚げる
- <マンジョカ フリッタ>
- ①マンジョカを食べやすい大きさに切る
 - ②180℃に熱した油で揚げ、熱いうちに塩をふっておく
 - ③皿に一口大に切ったミラネッサとマンジョカを盛る

<編集室で再現した感想>
難易度 ★★★★★
達成感 ★★★★★

にんにくをすり油の処理があったりと少し手間がかかるので難易度を4にしましたが、とてもおいしかったのでまた作りたいメニュー。肉はたたいたあと、30分にんにくとレモン汁につけることで、味がただでなく臭みも取れてより軟らかくなりました。マンジョカは太いままとカットしたものと両方作りました。ほっこり感が多いほうがいい方は太いまま揚げるといいと思います。

<井上さんからのアドバイス>
①の牛もも肉は、オーストラリア産のパラグアイの牛肉の味に近くはなりお薦めです。ブラジル食材店では「アルカトラ」という名前で売っています。
②で肉はなるべく薄くなるようにたたきます。肉たたきがなければ、すりこぎ棒や持ちやすい瓶などでも代用できます。※編集室ではすりこぎ棒と大根おろし器のすりこぎ部分を使用しました
⑤の揚げ油は、使用する鍋に深さ3cm強くらいの量を入れます。
⑥のマンジョカは、冷凍品が大きすぎる場合は一度レンジで解凍してからフライドポテトのようにカットして揚げてください。油はミラネッサで使った残りをそのまま使用します。



なめらかな舌触り
「おからハンバーグ」

外はカリカリ、中はホクホク
「マンジョカ フリッタ」

軟らかく薄いので
つつい手が伸びる
「ミラネッサ」



パラグアイで作った、豆腐とおからハンバーグ。おからハンバーグに青じそを刻んで入れてもいいそう



料理のデモンストレーション



栄養士の井上さんは、パラグアイで野菜料理の講習会や栄養指導を行った



メキシコ

マヤビニックコーヒーの生産者と杉山さん(写真左から2人目)。「私がコーヒーを扱うことによって、現地の人たちがそれぞれの夢や希望に近づくことができるように、そして会社が『人々の成長する機会』になれるようにと願っています」(杉山さん)

メキシコ・マヤ地域の高地から届く 化学肥料に頼らずに育てられたコーヒー

メキシコの平均標高1200mの高地で育てられるマヤビニックコーヒーは、贅沢な香りとコクで多くのコーヒー愛好家の心をつかんでいる。「産地のチアパス州はマヤ系先住民が多く住む地域で、寒暖差のある気候がコーヒー栽培に適しています。580の小規模な農家からなる生産者組合の名称マヤビニックには『マヤの人々』という意味があります」と、豆乃木の代表・杉山世子さんは話す。

杉山さんは20代にアフリカの4カ国で協力隊員として活動し、マラウイで一村一品運動に関わった。「地域資源を生かす一村一品運動の根っこにあるのは人づくりだと実感し、現地の人々と一緒に仕事をしたいと思いました」。帰国後はアフリカに関する起業を目指して慶應義塾大学に入学。メキシコの地域研究者でもある山本純一教授に師事したことで、メキシコのフェアトレードコーヒーと出会い、「アフリカに関わりたい思いを抱えつつも、目の前にあるメキシコ

のコーヒーから始めようと思った」という。卒業後の2011年に豆乃木を設立、世界のコーヒーを日本で輸入・販売している。

設立から11年、山あり谷ありの日々だった。忘れられないのが起業して3年目のこと。「コーヒーの木を枯らす、さび病の被害を収穫直前に知ったのです。『被害がひどいから今年は日本に送れるかわからない』と組合の人に言われました」。さび病の拡大は現地では数カ月前からわかっていたことなのに知ることができなかった。その原因がコミュニケーション不足にあると気づいた杉山さんはメキシコへ赴いた。「2カ月間、現地に滞在し、組合の人たちと信頼関係を築いて、今では関係性が良くなりました」。

事業が軌道に乗った今、協力隊時代から見つめ続けてきたアフリカのコーヒーを開拓したい思いが芽生えている。「直接現地に出向き、自分で探した豆をお客さんに届けたいのです。それができたらやり残したことはないと思っています」。



＼ うちのこだわり /

OB・OG ショップ

— 海外編 —



プロの焙煎士や販売店に選ばれ、業務用生豆の販売が年々増えているマヤビニックコーヒー

SHOP DATA

豆乃木

経営者：杉山世子さん
(ジンバブエ/ソフトボール/2000年度1次隊、ケニア/ソフトボール/2003年度短期、マラウイ/村落開発普及員/2005年度短期、ブルキナファソ/青少年活動/2008年度短期・静岡県出身)
ウェブショップ <https://www.hagukumuhito.net>



Text = 村重真紀 写真提供 = 豆乃木



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

